

縮尺 2 0 万 分 の 1

土 地 分 類 図 付 属 資 料

北海道Ⅳ（上川）

昭 和 52 年

国 土 庁 土 地 局

縮尺20万分の1土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A 土地条件等の概要の部

1 地形区分とその性状等の概要	1
2 表層地質の分布とその性状等の概要	7
3 土壌の分布とその性状及び生産力可能性等の概要	9
4 土地利用可能性分級等の概要	15
4-1 土地利用現況の概要	15
4-2 土地利用可能性分級の地域別概要	17

B 統計の部

1 土地利用現況	20
1-1 市町村別土地利用現況内訳	20
2 自然的土地条件	26
2-1 市町村別傾斜区分別面積内訳	26
2-2 市町村別標高区分別面積内訳	27
2-3 市町村別地形区分別面積内訳	28
2-4 市町村別表層地質分布面積内訳	30
2-5 市区町別土壌統群分布面積内訳	34
3 土地利用可能性分級	38
3-1 市町村別土地利用可能性分級別面積内訳	38
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	40
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	40
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	40
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	42
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	42
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	44
3-4 市町村別土地利用可能性分級別内訳	46

利用者のために

1. 編集方針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と、面積統計とに区分されるが、面積統計については、以下の要領により作成したものである。

例えば、2-1表「市町村別傾斜区分別面積内訳」は、「傾斜区分図」（オーバレイ）を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」については、「土地利用可能性分級図」及び「地形分類図」を用い、前者の類地パターンと、後者の地形区分のパターンとを重ね合わせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握し作成したものである。

但し、1—1表「市町村別土地利用現況内訳」及び1—2表「D・1・Dおよびね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については、北海道における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお、縮尺 20 万分の 1 土地分類図の各図幅と、付属資料の統計表との関連を示すと次表のとおりである。

統計表の名称		1 地形分類図	2 起伏量・谷密度図	3 傾斜区分図	4 表層(平面的)地質分類図	5 表層(垂直的)地質分類図	6 土壌分類図	7 土壌生産力可能性図	8 土性等級区分図(土地利用可能性分級図)	9 土地利用可能性分級図	10 標高区分図	11 道統計資料等
1-1	市町村別土地利用現況内訳											○
1-2	D. 1. D おおむね 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1	市町村別傾斜区分別面積内訳			○								
2-2	市町村別標高区分別面積内訳										○	
2-3	市町村別地形区分別面積内訳	○										
2-4	市町村別表層地質分布面積内訳				○							
2-5	市町村別土壌統群分布面積内訳						○					
3-1	市町村別土地利用可能性分級別面積内訳									○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性等級区分との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	市町村別土地利用可能性分級別内訳									○		○

Ⅱ 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、即ち縮尺20万分の1土地分類図の場合には、最小図示単位として1Km²（図上で5mm²）を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。特に、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やゝ少な目に数値が出る傾向がある。

したがって、この種の面積については、項目毎の絶対値を使用するのではなく、概括的な把握、ないし項目の構成比率等の利用に配慮されたい。

Ⅲ 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「—」は該当事実のないもの

「」（空白）は編集時において資料がなく不明のもの

Ⅳ 調査機関一覧

調査項目	機 関 名	所 在 地
総 括 調 整	北海道開発調整部	札幌市中央区北3条西6丁目 〒060-91 TEL 011-231-4111(内線2432)
地 形 分 類	北海道教育大学 札幌分校(奈良部理) 函館分校(瀬川秀良) 岩見沢分校(野川 潔) 旭川分校(小杉健三)	札幌市中央区南24条西13丁目 〒064 TEL 011-561-4281 札幌市中央区南24条西13丁目 〒064 TEL 011-561-4281 函館市人見町22-4 〒040 TEL 0138-41-1121 岩見沢市緑ヶ丘 〒068 TEL 01262-2-1470 旭川市北門町9丁目 〒070 TEL 0611-51-6157
表 層 地 質	北海道立地下資源調査所	札幌市中央区南11条西3丁目 〒060 TEL 011-511-0111
土 壌 農 地 林 地	農林省北海道農業試験場 農林省林業試験場北海道支場 北海道立林業試験場	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒061-01 TEL 011-851-9141 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒062 TEL 011-851-4131 美瑛市光珠内町東山 〒079-01 TEL 01266-3-4164
土地利用現況	北海道開発調整部	札幌市中央区北3条西6丁目 〒060-91 TEL 011-231-4111(内線2432)
土地利用可能性分級	農林省北海道農業試験場 農林省林業試験場北海道支場 北海道開発調整部	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒061-01 TEL 011-851-9141 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒062 TEL 011-851-4131 札幌市中央区北3条西6丁目 〒060-91 TEL 011-231-4111(内線2432)

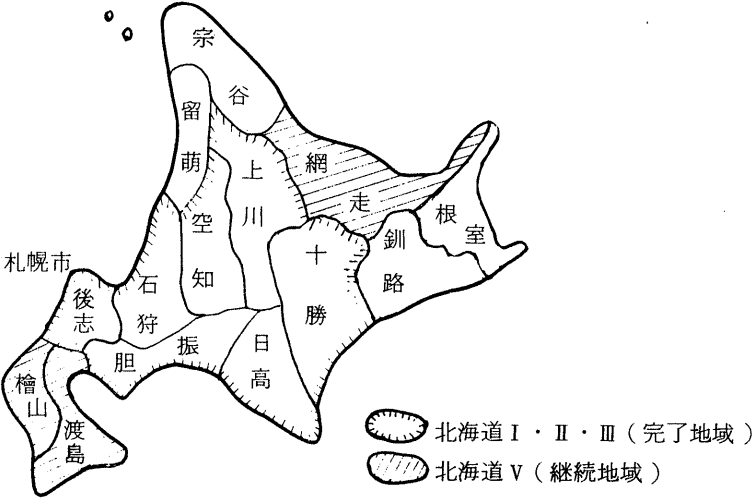
V 縮尺 20 万分の 1 土地分類調査のすすめ方

北海道を 5 ブロックに区分し、次表のスケジュールにより昭和 4 7 年から昭和 5 2 年の 6 カ年で調査することとしている。

地区 番号	調査 年度	支庁名 (地域名)	面積	図幅 区分	図幅単位 別面積
I	47~48	石狩	3,551 (Km ²)	1	11,555 (Km ²)
		後志	4,302		
		胆振	3,702		
II	48~49	十勝	10,831	2	10,831
		日高	4,838	3	4,838
III	49~50	上川	9,870	4	9,870
		空知	6,586	5	6,586
IV	50~51	網走	10,687	6	10,687
		渡島	3,726	7	6,581
		檜山	2,855		
V	51~52	宗谷	4,076	8	8,105
		留萌	4,029		
		根室	3,459	9	9,462
		釧路	6,003		
	47~52	計	78,515		78,515

注 歯舞諸島、色丹島、国後、択捉島を除く。

支庁行政区域図



A . 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状等の概要

1-1 総説

上川地域は北海道胴体部の中央に位置し、台地や段丘面を周縁に伴った名寄・上川・富良野の3盆地と、これらを取り囲む丘陵・山地地域からなり、天塩川・石狩川・空知川のそれぞれ上・中流域を占めている。本管内は広域生活圏からみて、これら3大河川の流域と一致しており、それぞれ上川北部地域・上川中部地域・富良野地域に3区分される。

上記3河川がその横谷によって管外へ通ずるほかは、一部を除いて隣接の各支庁とは北海道の蝦夷山系の主・副分水界で境されており、上川管内全体は一種の大盆地地形を呈する。すなわち、山地は中央盆地列の東側に北見山地と石狩山地、西側には天塩山地と夕張山地のそれぞれ内陸側の山地が連なっており、南部の日高山脈北端部（占冠山地）で東西両山地が接合する。東側の山地地域は幅広く、主山稜から分岐した支脈が発達し、その山間部には仁宇布・下川などの小盆地が形成されている。一方、西側の山地地域は、幅員が小さく、とくに、名寄・富良野両盆地へは断層崖ないしは撓曲崖で接して急斜面をなす。山地地域では、おおむね北ほど氷期の周氷河作用の影響が強く残存し、森林限界以高の山地の部分には現在でも周氷河作用が生起している。

火山地域は千島火山帯に属する大雪火山群や十勝岳連峯が石狩山地の一部として、管内中部の東側にかかなり広い面積を占めている。そのほか、北部北見山地にも、洪積世に生成した火山群が分布するが、地形区分上、非火山として本図では示してある。

一地形区において大規模に発達することのない丘陵地は、各山地縁辺部において断片的に分布し、あるいは盆地内部に残丘状にみられたり、岩石台地上に形成されている。

洪積台地や河岸段丘は盆地の周縁および主要河谷内に発達し、一部に非火山性の岩石段丘がみられるほかは、ほとんどが砂礫質の台地・段丘である。河岸段丘面はその河床からの比高や面の開析度などから数段に分けられるが、分類基準によって上・中・下の3段に分類してある。河床から100～150mに位置する火山灰砂台地は管内の南半部における特色ある台地地形面をなし、古雪山や古十勝岳を起源とした一種の火砕流で、火山山麓から盆地縁辺部まで台地状に広く分布する。

盆地内は上記の段丘面の分布から、かつて湖盆を形成していたと考えられ、また最終的な沼沢の残存したことは、名寄盆地南部（剣淵）・上川盆地西北部（鷹栖）・富良野盆地中部（富良野）にそれぞれ泥炭地が発達している事実によって推定されよう。したがって、現在の低地面は泥炭質に富む三角洲性平野と、河川による周辺山地からの供給物（砂礫質堆積物）で構成された扇状地性の平野で大部分形成され、各主要河川に沿って幅狭く自然堤防や氾濫原が分布している。

1-2 地形区分

上川地域の地形区は、各地形面の連続性とそのまとまりに主眼を置いた従来の方法によって次のように設定される。

A I 天塩山地

1. 中川山地
2. 犬牛別山地
3. 幌内山地

A II 北見山地

1. 北部北見山地
2. 中部北見山地
3. 米飯山地

- AⅢ 石狩山地
- AⅣ 夕張山地
- AⅤ 占冠山地
- AⅥ 大雪―十勝火山地
- BⅠ 中川丘陵群
 - 1. 歌内丘陵 2. 佐久丘陵 3. 上音威子府丘陵 4. 恩根内丘陵 5. 報徳丘陵
- BⅡ 名寄丘陵群
 - 1. 温根別丘陵 2. 忠烈布丘陵 3. 下川丘陵 4. 東和丘陵 5. 塩狩丘陵
- BⅢ 旭川丘陵群
 - 1. 嵐山丘陵 2. 比布丘陵 3. 開明丘陵 4. 神居丘陵
- BⅣ 富良野丘陵群
 - 1. 向山丘陵 2. 西達布丘陵 3. 北幾寅丘陵 4. 双珠別丘陵
- CⅠ 名寄台地群
 - 1. 咲来台地 2. 智恵文台地 3. 智北台地 4. 仁宇布台地 5. サンプル台地
 - 6. 下川台地 7. 多寄台地 8. 士別台地 9. 菊野台地
- CⅡ 上川中部台地群
 - 1. 鷹栖台地 2. 愛別台地 3. 近文台地 4. 当麻台地 5. 東旭川台地
 - 6. 神楽台地 7. 美瑛台地 8. 上川台地 9. 石狩川上流台地
- CⅢ 富良野台地群
 - 1. 山部台地 2. 八幡丘台地 3. 麓郷台地 4. 南麓郷台地 5. 北落合台地
 - 6. 金山台地 7. 上トマム台地
- DⅠ 上川北部低地群
 - 1. 中川低地 2. 美深低地 3. 名寄低地 4. 温根別低地 5. 剣淵低地
- DⅡ 上川中部低地群
 - 1. 旭川低地 2. 江丹別低地 3. 美瑛低地
- DⅢ 上川南部低地群
 - 1. 富良野低地 2. 幾寅低地

1－3 地域別の地形区概要

I 上川北部地域

本地域は上川地域の北半部を占め、2市8町村からなる。

A 山地

山地地域は名寄盆地をはさんで、西側に天塩山地（AⅠ）の東縁部・東側には北見山地（AⅡ）の西部がそれぞれ南北方向に位置する。前者はさらに中川（AⅠ―1）・犬牛別（AⅠ―2）の両山地に区分される。中川山地は高度300～700mの低山性山地で、天塩川および・安平志川の縦・横谷により分断されているが、これらの狭小な河底平野も本地形区に含めてある。犬牛別山地は犬牛別山（746m）を主峯とする500～600m級の低山性山地で、中川山地とともにほとんど小起伏山地からなる。北見山地は名寄川によって北部北見山地（AⅡ―1）と中部北見山地（AⅡ―2）と

に分けられる。前者は火山性山地が卓越し、函岳（1,129m）・ピアッシリ山（987m）などは死火山で周囲から開析谷が発達するが、今なお火山としての原形を保っている。北見山地は全体として従順山形をなし、支庁界の主分水嶺には中部天塩山地の主峰・天塩岳（1,558m）やウェンシリ岳（1,142m）などの1,000～1,500m級の山地が大起伏山地を形成している。山間の小盆地や谷底平野をはさむ副分水嶺上には800～1,000m級の中起伏山地が分布し、これらを取り囲んで小起伏山地が広く発達する。

B 丘陵地

上記の山地地域の緑辺部には、下位の台地面に接続して丘陵地が散在的に分布する。本図では地域的にかなりの面積を有するものについて地形区分の対象とした。本地域の北半部の中川丘陵群（BⅠ）は歌内・佐久・上音威子府・恩根内・報徳の5丘陵区に、南半部の名寄丘陵群（BⅡ）は温根別・忠烈布・下川・東和・塩狩の5丘陵区にそれぞれ分けられ、いずれも大起伏丘陵地が卓越する。

C 台地および段丘

名寄盆地には北海道の新时期地殻変動を反映して洪積台地や河岸段丘がよく発達し、上川北部地域の地形的特色の1つに挙げることができる。河岸段丘面は総計7～8段に分類・対比できるが、ここでは台地および段丘面を河床からの相対的な高度や開析度によって、上位面・中位面・下位面の3群に分けた。このうちでも、中位面が最も広く発達している。天塩川上流域に岩石段丘がみられるほかは、数m前後の厚さの砂礫層に覆われた洪積世の砂礫台地・段丘および沖積砂礫段丘である。

地域的には名寄台地群（CⅠ）を9台地地域に区分した。このうち、咲来（CⅠ-1）および智北（CⅠ-3）両台地区は名寄川以北の盆地東縁にあって、上・中・下位の各砂礫段丘面が発達し、とくに上位面は著しい。智恵文台地区（CⅠ-2）は名寄台地群のうちでも最大面積を有し、とくに中位面が大規模に発達している。同様に、盆地周縁の多寄（CⅠ-7）・土別（CⅠ-8）・菊野（CⅠ-9）の各区でも中位面の洪積台地がかなり広く、また、多寄・土別両区にはそれを切って下位面が発達する。仁宇布（CⅠ-4）・サンル（DⅠ-5）両台地区では小規模ながら中・下位両面が分布し、下川台地区（CⅠ-6）には中位面が最も顕著で、上・下位両面は規模が小さい。

D 低地

名寄盆地は地形的に幅員5Km前後の盆地底を有する美深（DⅠ-2）・名寄（DⅠ-3）および剣淵（DⅠ-5）の3低地区に区分できるが、そのほかにも、やや広がりをもつ中川低地（DⅠ-1）および温根別低地（DⅠ-4）の両区を加え、上川北部低地群（DⅠ）を以上の5地域に区分した。これらの低地帯の盆地中央部は一般に三角州性平野の特性をもち、その周囲に扇状地性平野が発達して、一部に小規模な段丘面や残丘（小起伏丘陵）が点在する。天塩川に沿って自然堤防が断続的にみられる。

Ⅱ 上川中部地域

本地域は上川支庁管内のうち、上川盆地およびその周辺部を含む石狩川流域に当たり、1市9町よりなる。

A 山地

本地域の山地を地形区別にみると、犬牛別山地（AⅠ-2）・幌内山地（AⅠ-3）・中部北見山地（AⅡ-2）・米飯山地（AⅡ-3）および石狩山地（AⅢ）の6山地地域となるが、いずれも小面積を占めるに過ぎない。このうち、犬牛別・中部北見両山地は上川北部地域からの延長部分である。中部北見山地および石狩山地には、大起伏山地を伴う中起伏山地が卓越し、急峻な山容を呈して北海道中央部における脊梁山地を形成するが、これら両山地の主分水嶺には石狩岳（1,962m）・音更

山（1,932m）・三国山（1,541m）・武利岳（1,816m）・武華山（1,759m）・チトカニウシ山（1,446m）などがある。チトカニウシ山の西側には前輪廻の侵蝕平坦面が浮島湿原を伴ってかなり広い範囲に発達する。盆地西側の幌内山地は主山稜部に中起伏山地をみるが、この盆地寄りの山腹や犬牛別・米飯両山地などはいずれも低起伏山地をなし、盆地縁辺の山地は概して低い。山麓部には周氷河起源の緩斜面が普遍的に発達する。

本地域の火山地は大雪山十勝火山地（AⅥ）のうち、十勝岳以北の広域部分である。この地形区は火山の噴出時期や地形的特色により細分も可能であるが、千島火山帯としてほとんど山稜が連続し、火山地全体を起伏別に分類しているため、本図では火山地をあえて一まとめにしている。大起伏火山地は、(1)ニセイカウシュベ山（1,870m）を中心とした地域、(2)旭岳（2,290m）を最高峰に白雲岳（2,229m）・比布岳（2,206m）・北海岳（2,161m）・凌雲岳（2,125m）・愛別岳（2,112m）・赤岳（2,078m）・黒岳（1,984m）などから構成された大雪山火山群地域、(3)トムラウシ山（2,141m）・忠別岳（1,962m）・化雲岳（1,954m）・小化雲岳（1,925m）などからなる高原状の地域、(4)十勝岳（2,077m）・美瑛岳（2,052m）・オブタテシケ山（2,012m）・美瑛富士（1,881m）などの十勝岳連峯地域にそれぞれ分布し、その火山体周囲には中起伏火山地が発達する。さらに、その下方へ広がる熔岩流の台状地は小起伏山地に分類される。

B 丘陵地

上記山地の縁辺には小規模な丘陵地が断片的にみられるが、本図では比較的まとまった嵐山丘陵（BⅢ-1）・比布丘陵（BⅢ-2）・開明丘陵（BⅢ-3）・神居丘陵（BⅢ-4）の4地域を区分の対象にした。そのほか、本地域の南西部には富良野地域の向山丘陵（BⅣ-1）の延長部分が若干みられる。盆地東縁の開明丘陵区の一部に小起伏山地・砂礫台地および谷底平野などを包含する。

C 台地・段丘

地形面の構成物質により、砂礫台地（段丘）・岩石台地（段丘）および火山灰砂台地の3種に分類されたが、前二者は石狩川本・支流による河岸段丘面である。上川盆地に発達する台地地形区のうち、鷹栖（CⅡ-1）・愛別（CⅡ-2）・近文（CⅡ-3）・神楽（CⅡ-6）の各区の中位砂礫段丘面は旧湖底面に相当し、砂礫層のほか粘土層に富み、一部には火山灰の風化層（ローム）を薄くのせている。東旭川区（CⅡ-5）の低位面は隆起扇状地で礫質に富むが、表面が厚い黒ボク土で覆われ、水田に利用されている。愛別区の高位面は堆積物が薄く、一種の岩石段丘の性状を示す。石狩川上流台地（段丘）（CⅡ-9）は石狩山地と大雪山火山群との間に分布し、かつての旧湖底面である。

火山灰砂台地は、以前に盆地や河谷内を厚く埋積した火砕流であるが、現在は盆地縁辺に残存するほか、上川盆地西南部から南部一帯（美瑛台地CⅡ-7）と、大雪山の西北側山麓（上川台地CⅡ-8）に台地地形として広く分布する。美瑛台地は古十勝火山を起源とするもので、上川・富良野両盆地を境しているのであるが、とくに開析谷の発達が著しく、周氷河作用の影響により全体的に波状形を呈する。他方の上川台地は古大雪山火山を起源とし、深い侵蝕谷がみられるが、周辺を山地で囲まれていることもあって、かなり平坦な原面が広く残されている。

D 低地

上川盆地を中心に、本地域内には石狩川本・支流の形成による河谷平野が発達しているが、地形区分の対象として、旭川低地（DⅡ-1）・江丹別低地（DⅡ-2）および美瑛低地（DⅡ-3）の3低地を設定した。旭川低地は一部の泥炭性平野のほかは、オサラッペ・春光町・永山・東神楽・西神楽・雨紛の各沖積面からなる扇状地性平野であり、その中を石狩川本流および支流に沿って自然堤防や氾濫原が形成されている。他の両低地は規模が小さく、江丹別低地の場合、周囲に段丘面を伴って

いる。

Ⅲ 富良野地域

本地域は上川地域の南部を占め、富良野盆地を中心に周辺の台地および山地地域からなり、1市4町村を含包する。

A 山地

上記の幌内山地の一部が本地域に含まれるほかは、本地域の山地を夕張山地（AN）と占冠山地（AV）とに区分した。夕張山地は大起伏山地が卓越し、隣接の支庁界の分水嶺には夕張岳（1,668 m）・芦別岳（1,727 m）・屏風山（1,263 m）などが連なる。山地東斜面にはV字谷の発達が目著で急峻な山容を呈し、その東縁は断層崖をなす。占冠山地は日高山脈の北端部に相当し、支庁界の山稜の一部に大起伏山地がみられるほかは中・小起伏山地からなる。この山地内部には細長い屈曲した谷底平野が連続し、山麓に沿って周氷河作用による緩斜面が発達する。

また、幌内山地は全て小起伏山地である。

本地域に含まれる火山地は前記上川中部地域の火山地の南への延長部分、すなわち十勝岳（2,077 m）以南の範囲である。富良野岳（1,912 m）・上ホロカメットク山（1,887 m）・下ホロカメットク山（1,668 m）・前富良野岳（1,624 m）などの円錐形火山を中心に大起伏火山地があり、これに隣接して、トウヤウスベ山（1,707 m）などの中起伏火山地が分布する。さらに、この周囲には原始ケ原などの小起伏山地が広がり、とくに、これらの火山山麓西側に火山性扇状地が発達する。

B 丘陵地

本地域内には、小面積の丘陵地が数箇所にわたって散在しているが、地形区分の対象として、向山（BN-1）・西達布（BN-2）・北幾寅（BN-3）・双珠別（BN-4）の4丘陵区分けした。向山・西達布両丘陵区分は火山性（熔結凝灰岩）の丘陵が卓越しているが、本図ではこれを区別せず普通の丘陵地に統一した。占冠山地内の双珠別丘陵区分は大起伏丘陵で、これを開析して形成された谷底平野なども含まれる。

C 台地および段丘

本地域においては各種の台地・段丘が存在する。とくに、火山灰砂台地は最も広大な面積を占め、前述の美瑛台地に連続して火山地周縁に大規模に発達する。この火山灰砂台地は地域的に本地域内の美瑛台地（CⅡ-7）・八幡丘台地（CⅢ-2）・南麓郷台地（CⅢ-4）および北落合台地（CⅢ-5）に分けられる。これらはいずれも分類上は岩石台地に含まれるが、高度差による段化が考えられるとしてもその対比が困難であり、南麓郷台地のほかは上位面に一括し、あえて細分しないことにした。上述したように、美瑛台地は波状化が著しいが、他の3区の台地面にはかなり平坦面がみられ、全体として下流方向へ緩傾斜をなす。例えば、北落合台地面は 20×10^{-8} 前後を示す。

一方、砂礫台地・段丘は十分な発達を示さないが、富良野盆地南半部には隆起扇状地が見事に発達し（山部台地CⅢ-1）、金山付近には空知川による上～下位各面が形成されている（金山台地CⅢ-6）。占冠山地内の上トマム台地（CⅢ-7）は中位面である。また、一部には火山灰砂台地を侵蝕して麓郷台地（CⅢ-3）がみられる。そのほかの岩石段丘およびローム段丘はそれぞれごく一部にみられるに過ぎない。

D 低地

地形区分の対象となりうる低地は、富良野盆地床の沖積低地面（富良野低地DⅢ-1）および空知川上流河谷内の幾寅低地（DⅢ-2）である。前者はその中央部に泥炭質の三角州性低地を有し、扇状地性平野がそれを包囲する形をとっているが、区分上、全てを扇状地性低地とした。

小 杉 健 三（北海道教育大学旭川分校）

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

2-1 一般地質

上川地域は北海道のほぼ中央部に位置し、地質構造区分では神居古潭帯と三畳～白亜系褶曲帯があり地質構造の複雑な地域である。したがって第四系に属するものを除いた地層や岩石は複雑な分布を示している。また、十勝、大雪火山があり火山性岩石も多く発達している。さらに、富良野盆地、上川盆地、名寄盆地と3つの大きな盆地が形成されている。

2-1-2 富良野地域

この地域は空知層群、えぞ層群に属する半固結～固結堆積物をはじめ深成岩類、変成岩類、火山性岩石、未固結堆積物などが分布している。

半固結～固結堆積物には泥岩、泥岩・砂岩互層および珪岩質岩石がある。泥岩は主夕張層の一部である滝の沢頁岩層、吉岡沢頁岩層および富良野層の一部であるペンチャーラ頁岩層などの頁岩層を泥岩として扱った。これらの地層は優乱されており脆い岩質となっている。砂岩・泥岩互層は主に夕張層の一部のエバナ砂岩・頁岩互層、ペンケシュル砂岩・頁岩互層および双珠別川層を一括して扱った。珪岩質岩石は空知層群のなかのチャートおよび珪質岩層として顕著なものを図示した。この岩石は非常に硬い岩石である。また、輝緑岩質岩石は山部層のトムム輝緑凝灰岩層、芦別岳輝緑凝灰岩層を一括した。これらの岩石は表面部が風化しているが風化層は浅い。しかし不規則な割目が発達している。火山性岩石は十勝岳を中心に安山岩溶岩が発達しているが山麓部には溶結凝灰岩が広く分布している。また、十勝岳山体の周りには未固結の碎屑物が分布しているがこれは礫および砂から構成されている。富良野盆地の北部地域には広い面積で泥炭地が形成されているがこの泥炭地以外の地域は礫・砂・粘土層として図示した。この地域内の各河川流域には礫・砂で構成されている氾らん原堆積物が分布している。地質構造は南北性の断層が発達しているがこれに斜交する断層もあり地層はこれらの断層によって寸断されている。さらに向斜・背斜および倒立褶曲などの複雑な構造を示している。

2-1-3 上川中部地域

この地域は上川盆地を中心に西側には神居古潭の変成岩および深成岩類が分布し、盆地周辺部の丘陵地には日高果層群がまた東側地域にも日高果層群および第三系の固結堆積物のほか火山性岩石が分布している。

神居古潭帯の変成岩類には主に緑色片岩、黒色片岩、黒色珪質片岩などで、これらの片岩は堅硬な岩石である。深成岩類は石狩川上流に分布する花こう岩で南北方向に小岩体で発達している。また、蛇紋岩は神居古潭帯の複背斜のところに南北方向に帯状に侵入している。この蛇紋岩体は大部分が葉片状蛇紋岩あるいは粘土化しており地すべりの発生しやすい状態の個所がある。日高果層群のものは泥岩で愛別層がこの地域の代表的な地層である。東側、すなわち石狩川上流地域は粘板岩が主体で湧別川層、幌加層、ニセイチャロマツ川層などがあるこれらの地層は確かな資料はないが日高果層群に属するものとされている。さらにこの地域には礫岩が発達している。これは第三系に属する上支湧別層である。また、上川町北部に砂岩が分布しているが第三系のウエンナイ川層のうち砂岩層の卓越している下部層を図示した。石狩川上流および石北峠付近には未固結の砂・礫層が分布している。この未固結堆積物は白滝層あるいは三国層と呼ばれている地層で更新統に属するものと考えられている。

上川盆地はこの地域の最大の盆地である。盆地の北部に小規模な泥炭地が形成されている。これだけ広い盆地であるので粘土層、や砂層の卓越している地域が存在すると考えられるがここでは礫・砂

・粘土として扱った。また、段丘堆積物は各河川流域に発達しているが小規模なものを除いて石狩川上流域の段丘を図示した。なお、この地域内の河川流域には礫・砂などで構成されている氾らん原堆積物が分布している。

地質構造は上川盆地の西側の神居古潭帯には東西性の断層が発達し、東側の地域には南北性あるいは東西性の傾向を示す断層が多く発達している。さらに、ニセイチャロマップ川流域には北東方向の上支湧別構造線と云われている大きな破碎帯がある。この破碎帯沿いの粘板岩は極めて脆くなっており、崩壊の発生する可能性が多い。

2-1-3 上川北部

この地域には南東部および北西部に白亜系の固結堆積物および深成岩類が分布している。そしてこれを2分する様に名寄と天塩の間には火山性岩石が広く分布している。また、名寄盆地の周辺部には未固結堆積物が発達している。南東部に分布する固結堆積物は粘板岩が主体となっている。この地域は現在調査中ではあるけれども日高果層群に属するものであることは間違いない。また、一の橋付近に礫岩層（一の橋礫岩）が分布しているがいまのところ時代は明らかでない。北西部地域の固結堆積物は、砂岩、泥岩互層、泥岩および砂岩で構成されている。砂岩・泥岩互層はえぞ層群の佐久層、佐古丹岳層などを一括したものである。また、泥岩はえぞ層群のオソウシナイ層、西知良志内層、佐久川層などである。尚、この泥岩は非常に軟質であるとともに粘土化をとまっているため地すべり地が多い。このほかに第三系の泥岩として声間層が分布している。砂岩はえぞ層群の小野寺層が代表的な地層である。火山性岩石には第三系の凝灰岩質岩石、集塊岩、流紋岩質岩石、安山岩質岩石などがある。凝灰岩質岩石は砂金川層の一部、熊の沢凝灰岩層、一の沢凝灰岩層などを一括した。これらは鉍化作用を受け変質しているものもある。集塊岩は美深層の一部、フーレベツ火山噴出物の上部および下部層、御車沢集塊岩層などを一括した。流紋岩質岩石は下川町の北東部の山地に分布しているもので石英粗面岩溶岩、サンル溶岩を一括して図示した。安山岩質岩石はシアシリ山、加須美岳などを構成して分布している。深成岩類には輝緑岩質岩石が音威富士北方山地および鬼刺山東部地区に、また花こう岩は下川の一の橋付近に、蛇紋岩は上物満内から帯状に音威子府にかけて分布するほかペンケ山の周辺、歌内東部地域に分布している。深成岩類のうち一の橋の花こう岩は風化をうけマサ状を呈している。また蛇紋岩も軟質となっており地すべり地が多い。

未固結堆積物は名寄盆地周辺に発達している。これは更新統に属す初茶志内層、路の台層などが代表的な地層である。段丘堆積物は天塩川中流域に発達するほか名寄市街北部の台地に発達している。主に礫・砂から構成されている。名寄盆地内は泥炭層の卓越する地域以外は礫・砂・粘土として扱った。中川町北部の沖積地についても同様にして図示した。

地質構造はとくに天塩中川地区が南北性の断層が卓越しこれに斜交する小断層や向斜・背斜構造が発達しておりこの地域で最も複雑な地質構造を示している。

2-1-4 応用地質

この地域には、金、銀、水銀、銅、クローム、マンガン、石綿、硫黄、石灰石、石炭などの金属、非金属鉱床のほか碎石地がある。このうち金属では下川鉍山（銅）、非金属では幾寅の石灰石が現在稼働中である。また、安山岩や砂岩を対象に数箇所において碎石が行なわれている。さらに、この地域の十勝、大雪の火山地帯には温泉が多くなかも層雲峡温泉、天人峡温泉、高原温泉、白金温泉などの有名な温泉地がある。

北海道立地下資源調査所 松 井 公 平

3. 土壌の分布とその性状および生産力可能性などの概要

3-1 土壌の類別および作図の方法

本調査における土壌の類別は、表一1の土壌統群一覧表に示した基準にしたがって実施した。

図示単位は原則として土壌統群を使用した。山地・丘陵地地域の土壌のうち線状あるいは小斑状に細かく分布するために、本縮尺では図示困難ないくつかの土壌統群については、それらの混在相の規則性にもとづいて、表一2に示すように12の土壌混在区を設け、それを作図単位とした。すなわち、表一1において※印のついた9の土壌統群は、それぞれ単独では図示単位として使用されておらず、他の土壌統群との組合せ（土壌混在区）で図示されている。なお、分級、面積計測など土壌図を使った一連の作業は表一1の土壌統群（※印を除く）と表一2の土壌混在区について行なった。

本図幅における山地・丘陵地、台地および低地の土壌は、土壌群11、土壌統群26、混在区5に分類された。

柱状図は、表一1の土壌統群ごとに示した。（本図幅に分布しなかったものは除く）。

各種土壌の分布・生産力との関連について概説すればつぎのとおりである。

3-2 山地および丘陵地の土壌

3-2-1 全域の概説

本地域の山地・丘陵地には、低海拔地から褐色森林土、暗色系褐色森林土、ポドゾル化土壌という垂直構成が見られる。ポドゾル化の程度は全般に弱く、基調になるのは褐色森林土（酸性）である。この褐色森林土は全般に埴質緻密なものが多く、やゝ堅果状構造の発達したものが多いためである。ポドゾル化土壌は褐色森林土の分布領域においても乾燥を受け易い尾根筋に生成されることが多く、褐色森林土とカタナを形成している部分がある。また海拔高を増すにしたがいポドゾル化の程度は強くなり、海拔高650m以上では暗色系褐色森林土とカタナを形成している。この地域にはくろぼく土および未熟土の少ないことが目立った。

3-2-2 上川北部地域

宗谷支庁界の南部延長は北見山地となり、多くの峰が1,000mをこえ、最高峰天塩岳（1,565m）に達している。その他の大部分は750～950m前後の峰が多く、古生層、酸性火成岩および混成岩からなっている。この山地の西縁は名寄盆地につづいている。

この地域の大部分は褐色森林土Ⅱ群域からなっているが、1部にⅠおよびⅢ群域が見られその面積は僅かである。また高い山地には褐色森林土—乾性ポドゾル化土壌群域が見られるが、これは局部的に分布し面積も少ない。暗色系褐色森林土—乾性ポドゾル化土壌群域はかなり広範囲にわたり、その分布面積は褐色森林土Ⅱ群域についている。さらに高山帯にはポドゾル化土壌—高山岩屑土壌モザイクが僅かに認められるにすぎない。山地の殆んどが林地であり、針広混交林が優占しつつ広葉樹林、針葉樹林である。造林地は主としてトドマツ、カラマツからなりその面積も多い。

一方空知支庁の北端部と留萌支庁界の東部に位置する山地では、海拔高800mをこえる峰は殆んどみられなく、第三紀層、中生層、中性および塩基性火成岩、変成岩および蛇紋岩からなり地質的に複雑である。また土壌も比較的埴質を帯びるものが多い。

この山地の東縁は名寄盆地につづいている。

この地域の大部分は、褐色森林土Ⅱ群域によって占められているが、1部にⅠ群域ならびにⅢ群域が見られる。しかしその分布面積は僅かである。また海拔高600mをこえる高い山地には、暗色系褐色森林土—乾性ポドゾル化土壌群域が茶古志山および布袋山付近に、褐色森林土—ポドゾル化土壌群域は、鬼刺山付近に僅かの面積で分布している。そのほか、変成岩および蛇紋岩を母材とする地域、すなわち、物満内付近にはポドゾル化土壌Ⅱ群域が小面積で南北に細長く分布している。

林地は主として広葉樹林が多く、針広混交林がこれにつぐ。1部にアカエゾマツを主体とする天然林の分布する地域もある。造林地はトドマツ・カラマツを主体としその面積も比較的多い。

3—2—3 富良野地域

十勝支庁界と接する狩勝峠付近の山地は一般に海拔高が高く、約1000m前後あり、これより西部の占冠村にかけて海拔高は低下している。局所的急斜面を除き一般に火山放出物（十勝岳・樽前山）が保存されそれが主要母材となっている。

この地区の大部分は褐色森林土Ⅱ群域であり、1部にⅠ群域が僅かに分布する。また高い山地にはポドゾル化土壌—高山性岩屑土壌モザイクが出現分布している。その面積は極めて僅少である。そのほか、くろぼく土および褐色森林土—くろぼく土群域が鬼峠、狩勝トンネルおよび落合付近に出現分布し面積も僅少である。海拔高600mをこすと、暗色系褐色森林土—乾性ポドゾル化土壌群域の分布が多く褐色森林土Ⅱ群域についている。

山地は針広混交林が主体でついで広葉樹林である。造林地はカラマツが主でそのほかトドマツがあり面積も多い。

また空知支庁と接する夕張山地には芦別岳（1727m）、夕張岳（1668m）の高峰が存立している。海拔高600m以下の山地は褐色森林土Ⅱ群域で占められている。海拔高600m以上の高地になると暗色系褐色森林土—ポドゾル化土壌群域が南北に細長く分布している。1部下金山付近には褐色森林土Ⅰ群域の分布がみられるが面積は小さい。さらに高山帯に至ると、ポドゾル化土壌Ⅰ群域、残積性未熟土壌およびポドゾル化土壌—高山岩屑土壌モザイクが僅かに分布している。

林地は針広混交林が主体である。トドマツ、アカエゾマツ、カラマツの造林が面積的に多い。また十勝岳（2077m）付近の高山帯には火山放出物未熟土壌およびポドゾル化土壌—高山性岩屑土壌の分布がみられるがその面積は僅かである。この高山帯から低海拔地にむかい暗色系褐色森林土群域、褐色森林土Ⅱ群域が出現し分布面積もかなり広範囲にわたっている。

3—2—4 上川中部地域

この地域の西部に位置する幌内山地での低山地には褐色森林土Ⅱ群域が分布し面積の占める割合が大きい。高い山地に至るとポドゾル化土壌Ⅱ群域は神居山、丸子山から熊山にかけて分布し、さらに褐色森林土Ⅰ群域は初子山、神楽山に、褐色森林土Ⅲ群域は神楽岳に分布しているが、これらはいずれも散在し面積も少ない。また東部に位置する大雪、十勝山系は、海拔高2000mをこえ、そのほか石狩岳、富良野岳など2000mに近い山も多く、北海道の屋根ともいふべきその位置がほぼ中央部に位するだけでなく、高さにおいても他の山地に優っている。旭岳（2290m）は北海道の最高峰にあたり、そのほか2000mをこえる火山は数多く認められている。これらは酸性火成岩および混成岩、中性および塩基性火成岩からなっているが、1部古生層によって構成されている地域もある。この山地の西部には、上川・富良野盆地が広い面積を占めている。

この地域には各種の土壌群域が出現分布している。

低海拔地においては大半が褐色森林土Ⅱ群域で占められているが、1部に丸山を中心とする地域にⅠ群域が僅かに認められるにすぎない。またこの低海拔地よりやゝ高い山地に至ると、褐色森林土—

乾性ポドゾル化土壌群域ならびに暗色系褐色森林土—乾性ポドゾル化土壌群域はかなり広範囲に出現分布している。そのほか褐色森林土Ⅲ群域も認められるが面積は僅少である。

さらに高山帯に至ると、ポドゾル化土壌—高山性岩屑土壌およびポドゾル化土壌Ⅰ群域、岩屑土壌—岩石地モザイクが分布する。これらの分布面積は極めて少ない。2,000mを越える高山帯には岩石地の分布が、かなり広い面積を占めている。そのほか、十勝岳山麓には火山放出物未熟土壌群域が、さらに沼の原、黄金ヶ原には泥炭地（高位）が、白金温泉付近にはポドゾル化土壌Ⅱ群域が小面積で出現分布している。

林地は針葉樹林ならびに針広混交林で占められている。造林は昭和29年9月の15号台風が北海道の森林に対して林政史上いまだ前例をみない最大の激害をうけて以後、アカエゾマツを主としこれにトドマツを対象に植栽されている。その面積は莫大なものである。

山 本 肇（農林省林業試験場北海道支場）

表一 1 土壌統群一覧表

大 分 類 (土 壌 群)	中 分 類 (土 壌 亜 群)	小 分 類 (土 壌 統 群)
岩 石 地	岩 石 地	岩 石 地※
岩 屑 土	高 山 性 岩 屑 土	高 山 性 岩 屑 土 壤※
	岩 屑 土	岩 屑 土 壤※
未 熟 土	残 積 性 未 熟 土	残 積 性 未 熟 土 壤
	☆ 砂 丘 未 熟 土	☆ 砂 丘 未 熟 土 壤 ☆ 湿 性 砂 丘 未 熟 土 壤
	火 山 抛 出 物 未 熟 土	火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤 粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤 湿 性 粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤
くろぼく土	果 層 くろぼく土	☆ 果 層 くろぼく土 壤 湿 性 果 層 くろぼく土 壤
	くろぼく土	くろぼく土 壤 a (くろぼく土) ☆ くろぼく土 壤 b (ローム質くろぼく土) ☆ 湿 性 くろぼく土 壤 a (くろぼく土) ☆ 湿 性 くろぼく土 壤 b (ローム質くろぼく土)
	未 熟 くろぼく土	☆ 未 熟 くろぼく土 壤 ☆ 湿 性 未 熟 くろぼく土 壤
	淡 色 くろぼく土	☆ 淡 色 くろぼく土 壤 a (くろぼく土) ☆ 淡 色 くろぼく土 壤 b (ローム質くろぼく土)
褐色森林土	褐 色 森 林 土	乾 性 褐 色 森 林 土 壤※ 褐 色 森 林 土 壤※ 湿 性 褐 色 森 林 土 壤※ 褐 色 森 林 土 壤Ⅳ
	暗 色 系 褐 色 森 林 土	暗 色 系 褐 色 森 林 土 壤※
ポドゾル	乾 性 ポドゾル	乾 性 ポドゾル 化 土 壤※
	湿 性 ポドゾル	湿 性 ポドゾル 化 土 壤※
赤 黄 色 土	赤 色 土	☆ 赤 色 土 壤
暗 赤 色 土	火 山 性 暗 赤 色 土	☆ 火 山 性 暗 赤 色 土 壤
褐色低地土	褐 色 低 地 土	褐 色 低 地 土 壤 粗 粒 褐 色 低 地 土 壤
灰色低地土	灰 色 低 地 土	細 粒 灰 色 低 地 土 壤 灰 色 低 地 土 壤 粗 粒 灰 色 低 地 土 壤
	灰 色 台 地 土	灰 色 台 地 土 壤
グライ土	グ ラ イ 土	細 粒 グ ラ イ 土 壤 グ ラ イ 土 壤 粗 粒 グ ラ イ 土 壤
	グ ラ イ 台 地 土	☆ グ ラ イ 台 地 土 壤
泥 炭 土	高 位 泥 炭 土 中 位 泥 炭 土 低 位 泥 炭 土	高 位 泥 炭 土 壤 中 位 泥 炭 土 壤 低 位 泥 炭 土 壤

※ 単独では図示せず、他の土壌統群との組合せ（混在区）で図示した。

☆ 本地域には存在しない。

表一 2 混在相図示単位一覧表

(山地・丘陵地について)

土 壤 混 在 区	主 要 構 成 土 壤 (統 群)
高山性岩屑土壌 __ 岩石地	高山性岩屑土壌・岩石地 (モザイク配列)
岩 屑 土 壌 __ 岩石地	岩屑土壌・岩石地 (モザイク配列)
褐色森林土 I	} 乾性褐色森林土壌 (尾根筋)・褐色森林土壌 (中腹)・湿性褐色森林土壌 (斜面下部) のカテナ配列。面積比で乾性が25%以上をI、湿性が25%以上をIII、乾湿それぞれ25%未満をIIとした。
褐色森林土 II	
褐色森林土 III	
褐色森林土一粗粒火山抛出力未熟土壌	褐色森林土壌・粗粒火山抛出力未熟土壌
褐色森林土一くろぼく土	褐色森林土壌・各種くろぼく土壌
褐色森林土一乾性ポドゾル化土壌	褐色森林土壌 (山腹)・乾性ポドゾル化土壌 (尾根筋)
暗色系褐色森林土一ポドゾル化土壌	暗色系褐色森林土壌 (山腹)・ポドゾル化土壌 (主に乾性、尾根筋)
ポドゾル化土壌 I	乾性ポドゾル化土壌・暗色系褐色森林土壌・褐色森林土壌
ポドゾル化土壌 II	湿性ポドゾル化土壌・乾性ポドゾル化土壌・暗色系褐色森林土壌・褐色森林土壌
ポドゾル化土壌一高山性岩屑土壌	ポドゾル化土壌 (主に乾性、ハイマツ群落下)・高山性岩屑土壌

3-3 台地および低地の土壌

3-3-1 全域の概説

上川地域 (上川支庁管内) 農牧地の主体は台地および大小河川によって形成された沖積地である。台地には褐色森林土壌Ⅳ (酸性) と灰色台地土壌が分布し、農牧地の53%を占め低地には褐色低地土壌、灰色低地土壌 (農牧地の39%) と黒ボク土壌 (同4%)、泥炭土壌 (同4%) が分布している。

上川中部地域、富良野地域は盆地地形で一般に気温の較差が大きく、とくに7~8月に気温が高くなるため稲作の中心地である。上川北部地域は寒冷多湿で稲作の北限とされ美深以北は草地が多くなっている。

3-3-2 上川北部地域

上川北部地域 (士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、朝日町、下川町、美深町、音威子府村、中川町)。

本地域で主体をなすのは低地土壌で本地域農牧地の52%を占め、天塩川、名寄川、有利里川、仁宇布川、安平志内川および小河川流域に分布する褐色低地土壌 (24%) と灰色低地土壌 (8%)、グライ土壌 (10%) からなり、褐色低地土壌は中粒質が多く、大河川周辺に分布する。灰色低地土壌は細粒質が多く、美深町以北に分布する。グライ土壌は剣淵町、士別町などの泥炭地周辺に分布し泥炭を夾在するものが多い。泥炭土壌は本地域農牧地の4%で低位泥炭土壌が多く、剣淵町、中川町、

和寒町、士別市に主として分布する。中間泥炭土壌は和寒町、釧路町に広く分布し、他は点的で利用率も低い。

台地土壌は褐色森林土Ⅳ（本地域農牧地の22%）および灰色台地土壌（同11%）で前者は名寄市、士別市、風連町に広く分布し、灰色台地土壌は士別市、名寄市、釧路町、風連町、中川町などに広く分布し、北部に分布するものは作土下が僅かに洗脱を受けている。

農牧地には台地、低地のほかに丘陵地を利用している所があり、褐色森林土壌Ⅱが分布する。集塊岩、安山岩、砂岩、頁岩などに由来する土壌が多く、除虫菊などを栽培し広く利用されたが近年草地造成による放牧地が多い。

3-3-3 富良野地域

富良野地域（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）。

本地域で最も広く分布するのは褐色森林土Ⅱ（本地域農牧地の38%）で次いで褐色低地土壌（同24%）、黒ボク土壌（同20%）で他の土壌は小面積である。褐色森林土壌Ⅱは十勝岳溶結凝灰岩に由来し、上富良野町、富良野市、中富良野町に広く分布する。褐色低地土壌は空知川、富良野川、西達布川および小河川流域に分布し、粗粒、中粒相半ばしている。黒ボク土壌は樽前山火山灰に由来し、南富良野町、占冠村に分布する。養分がやや少ない土壌で草地および畑として利用されている。火山抛出品未熟土壌は十勝岳の噴火による泥流（1926年）で硫黄のため強い硫酸酸性を呈していたが最近客土、石灰の投入などによって改良されてきている。

灰色低地土壌、グライ土壌は中粒ないし細粒質で泥炭地周辺に分布（灰色低地土壌は本地域農牧地の2%、グライ土壌は7%）し、富良野市、中富良野町に広く分布する。泥炭土壌は低位泥炭土壌が主体を占め、中富良野町、富良野市、上富良野町に分布し（本地域農牧地の6%）、水田として利用されている。高位、中間泥炭土壌も存在するが面積は極めて小さく、土地改良が進み形態は変わってきている。

3-3-4 上川中部地域

上川中部地域（旭川市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町）。

本地域で最も広く分布するのは褐色森林土壌Ⅱであり（本地域農牧地の35%）、これは溶結凝灰岩、火山灰を母材とする土壌で美瑛町、旭川市、東川町、鷹栖町、東神楽町に分布している。畑が広く、傾斜の強い所は草地として利用されている。次いで褐色低地土壌（同18%）、灰色低地土壌（同19%）が広く分布し、褐色低地土壌は石狩川、忠別川、愛別川、美馬牛川、瑠辺薬川および小河川流域に分布し、粗粒、中粒相半ばし、水田としての利用が広く、肥沃な土壌である。灰色低地土壌は中粒質が主体を占め、旭川市、当麻町に広く分布し、細粒質は鷹栖町、粗粒質は旭川市から東神楽町にかけて分布し、水田が広く、生産の高い地域である。

灰色台地土壌は旭川市、鷹栖町、東神楽町に分布（本地域農牧地の11%）し、細粒質の下層堅密な土壌で土壌改良が行なわれている。

その他、集塊岩、安山岩、蛇紋岩、赤色珪岩に由来する残積性未熟土壌が美瑛町、鷹栖町に、十勝岳の泥流に由来する火山抛出品未熟土壌が美瑛町に分布し、畑として利用されている。

泥炭土壌は低位泥炭が大部分を占め鷹栖町に主として分布しており、水田として利用されている。

佐々木 龍 男（北海道農業試験場）

4. 土地利用可能性分級の概要

4-1 土地利用現況等の概要

1. 上川地域（行政区域としては、上川支庁管内）は、北海道の脊梁部に位置し名寄盆地、上川盆地、富良野盆地などの盆地群を有し、その面積は9,870Km²で北海道総面積の約12%を占めている。

本地域の北は宗谷丘陵、天塩山地、北見山地に接し、東は北見山地、石狩山地に続いている。石狩山地には、2,000m級の活火山を有する大雪山があり、主峰旭岳は2,200mで、北海道における最高峰である。

また、西は幌内山地、天塩山地に、南は日高山地及び夕張山地と接している。

なお、本地域は、上川北部、上川中部、富良野の各広域生活圏に分けられている。

2. 本地域の気候は、気候区分からみると次表の如く「内陸」に入っており「I₁ 盆地部」と「I₂ 山岳部」に分けられている。

盆地部及び山岳部における各々の年平均気温は、5～6℃、4～5℃、最暖月平均気温は20～22℃、20℃内外、最寒月平均気温は-9～-11℃、-11℃以下となっており、降水量は、共に早春季には少なく、又積雪量は一般的に多く、特に北部に多い。

3. 地目別の土地利用の現況を表1-1についてみると、農用地（農地及び利用草地）が1,169Km²で約12%、林地は7,437Km²で75%、宅地91Km²約1%、その他は985Km²で約10%となっている。

(1) 農用地のうち農地面積は1,146Km²で、その約41%を上川中部圏が占め、次いで上川北部圏が約39%、富良野圏は約20%となっている。

水田は689Km²で全道の約27%を占めているが、とくに石狩川及びその支流である牛朱別川、忠別川、美瑛川等の合流部に形成された上川盆地を擁する上川中部圏は、空知地域と共に本道稲作の中核地帯となっている。

畑は457Km²であるが、畑作物の主な作付け率をみると、飼料用作物が約29%、豆類約26%、馬鈴薯約11%となっている。

樹園地は、3Km²で主に上川中部圏に分布しており、特に旭川市近郊に多い。

利用草地は23Km²で上川北部圏が65%を占めている。

(2) 林野（林地（除地を除く）及び原野）の利用状況についてみると、林野面積7,201Km²のうち国有林野が約64%、公有林野約19%、私有林野約17%となっており、国有林野の占める割合が高くなっている。

なお、国有林野は、上川北部圏及び富良野圏に多く、公有林野は上川北部圏に多い。

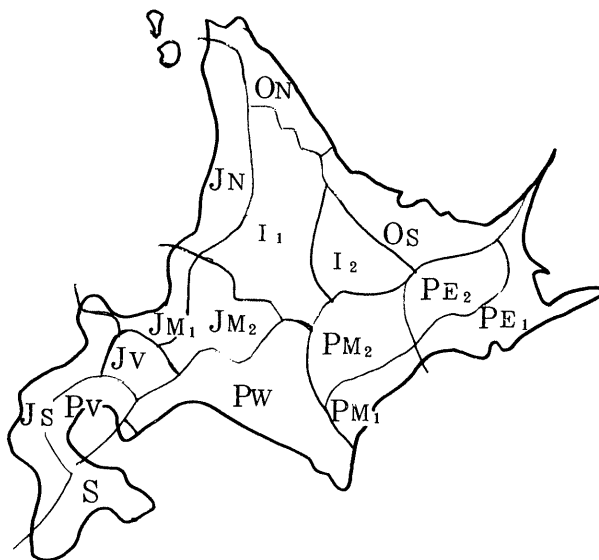
また、私有林野は上川中部圏に最も多く、次いで上川北部圏、富良野の順になっている。

人工林は、1,224Km²で林地面積の約16%を占めており、圏域別には上川北部圏40%、上川中部圏37%、富良野圏23%となっている。

林野の公益的利用について、特に保安林及び保安林施設地区をみると、その面積は約3,183Km²で林地面積の約43%を占めている。

(3) その他

本地域には自然公園が4箇所指定されており、総面積は約1,174Km²である。これを圏域別にみると、上川中部圏には大雪山国立自然公園（1,875Km²）、上川北部圏は朱鞠内道立自然公園（4



北海道の気候区分

区 分			年平均気温	最暖月平均 気温	最寒月平均 気温	降水の特徴	その他特殊事項	
S	南 端 部		8 ～ 9 ℃	21 ～ 23 ℃	- 2 ～ - 4 ℃	早春季少し	夏季及初秋豪 雨あり	
JS	日 本 海 側	南 部		8 内 外	21 ～ 22	- 3 ～ - 5	晩春季少し	
JM ₁		中 部	沿 岸			- 4 ～ - 6	春季少し	
JM ₂			平 野			- 6 ～ - 8		
JN		北 部		6 ～ 7	20 内 外	- 5 ～ - 8	早春季少し	
JV		後志火山地域		5 ～ 6	21 ～ 22	- 7 ～ - 9	春季少し	
PV	太 平 洋 側	噴火湾沿岸		7 ～ 8	21 ～ 22	- 5 内 外	早春季少し	
PW		胆振日高沿岸				- 5 ～ - 8	冬季少し	
PM ₁		十 勝	沿 岸	6 内 外	18 ～ 20	- 7 ～ - 10		初夏霧多し
PM ₂			平 野		20 ～ 21	- 10 ～ - 11		
PE ₁		根 釧	沿 岸	3 ～ 6	17 ～ 19	- 5 ～ - 8		初夏濃霧多し
PE ₂			平 野		20 内 外	- 8 ～ - 10		初夏霧多し
OS	オク ホー ツ側	南 部		5 ～ 7	20 内 外	- 7 ～ - 9	冬季春季共 少し	流水多し
ON		北 部		5 ～ 6				
I ₁	内 陸	盆 地 部		5 ～ 6	20 ～ 22	早春季少し	北部積雪多し	
I ₂	陸	山 岳 部		4 ～ 5	20 内 外		積雪多し	

(札幌管区气象台資料)

Km²）、富良野圏は大雪山国立自然公園（144 Km²）及び富良野芦別道立自然公園（151 Km²）が指定されている。

この他、本地域には北海道自然環境等保全条例に基づく環境緑地保護地区等が446 ha 指定されており、このうち環境緑地保護地区301 ha、自然景観保護地区は145 ha である。

また、天然記念物として、当麻鐘乳洞（当麻町）及び大雪山（上川町、東川町、美瑛町等）が指定されている。

宅地面積は、91 Km² であるが、市部（4市）で59 Km²、約64%を占めており、うち旭川市は41 Km² となっている。

岩 間 勝 久（北海道開発調整部土地対策課）

4-2 土地利用可能性分級の地域別概要

土地利用可能性分級は、標高、傾斜、土壌生産力可能性等級を組み合わせることにより得られ1類地から8類地まで分級することが出来る。類地区分を面積別でみると、4類地が最も広く全面積の39%を占め、次いで3類地（24%）、5類地（15%）、6類地（9%）、2類地（8%）の順で1類地、7類地は極めて小面積である。

1類地は富良野地域を除く、上川北部地域および上川中部地域に分布し、標高が低く、傾斜の弱い褐色森林土壌Ⅰである。

2類地は上川中部地域の石狩川流域の褐色低地土壌、水田となっている灰色低地土壌および褐色森林土壌Ⅱ、Ⅳである。上川北部地域では天塩川流域の褐色森林土壌、褐色低地土壌である。又、富良野地域で空知川流域の褐色低地土壌、水田となっている灰色低地土壌および褐色森林土壌Ⅱが主体となっている。

3類地は上川北部地域（3類地面積の42%）、上川中部地域（同34%）、富良野地域（同25%）、の順で農牧地では粗粒褐色低地土壌、灰色低地土壌、グライ土壌（畑地）低位泥炭土壌、黒ボク土壌、褐色森林土壌Ⅱ、Ⅳである。林地では褐色森林土壌、褐色森林土壌—ポドゾル化土壌が主体で、富良野地域では褐色森林土壌—黒ボク土壌のうち標高が高く傾斜の強い所が含まれる。

4類地は上川北部地域が最も広く、4類地面積の52%を占め、上川中部地域（27%）、富良野地域（20%）の順である。褐色森林土壌、褐色森林土壌—ポドゾル化土壌が主体で、傾斜が強くなっている（S₃～S₄）所である。

5類地は上川北部地域（5類地面積の47%）が広く、上川中部地域（同28%）、富良野地域（同25%）が少ない。上川北部地域では鬼刺山（728）、茶古志山（701）、岩尾岳（1,000）周辺の標高H₁～H₂、傾斜はS₃～S₅の褐色森林土壌および褐色森林土壌—ポドゾル化土壌が主体をなす。上川中部地域では、摺鉢山（1,024）、勇駒別温泉、丸子山（896）周辺の褐色森林土壌でH₂～H₃、S₄～S₅が広い。富良野地域では前富良野岳（1,624）、夕張岳（1,668）、富良野西岳（1,331）周辺の褐色森林土壌が主体で、H₂～H₃、S₃～S₅である。

6類地は上川中部地域（6類地面積の51%）、富良野地域（同26%）、上川北部地域（同23%）の順で、上川中部地域では美瑛岳（2,052）、音更山（1,932）、屏風岳（1,792）周辺に分布し、褐色森林土壌—ポドゾル化土壌が主体で、H₂～H₃、S₄～S₅である。富良野地域では十勝岳（2,077）、狩振岳（1,323）夕張岳（1,668）周辺に点的に分布する。上川北部地域では天塩岳（1,558）、シアッシリ山（903）周辺に分布し、土壌などの条件は中部地域と同

様である。

7類地は6類地よりも更に標高が高く、傾斜の強くなる山地で、その85%は上川中部地域の大雪山連峰（旭岳・2,290、白雲岳・2,230、比布岳・2,206）にあり、富良野地域では芦別岳（1,727）、老根別山（911）上川北部地域では鬼刺山（728）に点在分布する。標高は $H_3 \sim H_4$ （一部 H_1 ）で、 $S_5 \sim S_6$ であり、ポドゾル化土壌—高山性岩屑土壌、高山性岩屑土壌である。

8類地は市街地、河川、ダム、湖沼である。ダムで広いのは南富良野町に在る金山ダム9Km²、朝日町の岩尾内ダム5Km²、上川町の大雪山ダム3Km²で河川は旭川市の石狩川が約10Km²である。

佐々木 龍 男（北海道農業試験場）

B. 統 計 の 部

1. 土地 利用 現 況

1 - 1. 市町村別土地利用現況面積内訳

地 域 名	市 町 村	農 地									草		
		田			畑						利 用 草 地		
		普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地			農 地 計	永牧 草 年地	自草 然地	計
							果 樹 園	桑 そ の 園 他	計				
上 川 地 域	旭 川 市	126	—	126	22	12	1	—	1	161	1	2	3
	鷹 栖 町	40	—	40	1	0	—	—	—	41	0	0	0
	東 神 楽 町	26	—	26	5	2	0	—	0	33	0	0	0
	当 麻 町	41	—	41	2	0	0	—	0	43	—	0	0
	比 布 町	26	—	26	1	0	0	—	0	27	0	0	0
	愛 別 町	19	—	19	1	1	0	—	0	21	0	0	0
	上 川 町	7	—	7	1	2	0	—	0	10	0	0	0
	東 川 町	31	—	31	2	1	0	—	0	34	—	0	0
	美 瑛 町	29	—	29	63	15	1	—	1	108	1	1	2
	上川中部圏計	345	—	345	98	33	2	—	2	478	2	3	5
下 川 地 域	士 別 市	87	—	187	24	8	0	—	0	119	0	2	2
	名 寄 市	17	—	17	22	6	—	—	—	45	1	1	2
	和 寒 町	29	—	29	8	5	0	—	0	42	0	1	1
	剣 淵 町	31	—	31	22	4	0	—	0	57	0	1	1
	朝 日 町	12	—	12	2	5	0	—	0	19	0	0	0
	風 連 町	40	—	40	4	4	—	—	—	48	0	1	1
	下 川 町	8	—	8	5	11	—	—	—	24	1	3	4

(単位 Km²)

地		林 地											宅	そ	合
未(利用原 草野地)	草地計	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地	林地計	地	の 他	計
		針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	採にて 草利用 放し 牧する 土地	そ の 他	計					
9	12	119	3	122	48	186	234	1	33	34	4	394	41	141	749
0	0	13	0	13	7	43	50	0	5	5	1	69	2	36	138
—	—	10	0	10	—	5	5	—	1	1	—	16	1	19	69
5	5	33	1	34	5	85	90	—	6	6	1	131	3	24	206
0	0	9	0	9	5	25	30	—	4	4	0	43	1	20	91
2	2	32	1	33	52	86	138	0	16	16	2	189	1	34	247
1	1	116	2	118	344	392	736	—	37	37	118	1009	2	32	1,054
0	0	22	0	22	51	75	126	—	7	7	36	191	2	23	250
12	14	92	1	93	114	141	255	0	20	20	107	475	4	71	672
29	34	446	8	454	626	1,038	1,664	1	129	130	269	2,517	57	390	3,476
73	75	85	2	87	31	220	251	2	15	17	4	359	3	45	601
0	2	50	1	51	24	97	121	—	13	13	1	186	4	79	316
17	18	29	1	30	7	89	96	—	12	12	2	140	2	22	224
12	13	11	1	12	1	22	23	—	2	2	—	37	1	22	130
8	8	42	1	43	125	278	403	0	16	16	14	476	1	21	525
1	2	41	1	42	24	57	81	—	10	10	1	134	1	34	219
3	7	97	2	99	156	274	430	—	27	27	12	568	2	42	643

地域名	市町村	農地									草			
		田			畑						農地計	利用草地		
		普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地			永牧草年地		自草然地	計	
							果樹園	桑その園他	計					
上川地域	美 深 町	15	—	15	14	13	—	—	—	42	0	2	2	
	音 威 子 府 村	—	—	—	5	7	—	—	—	12	1	1	2	
	中 川 町	0	—	0	7	22	—	—	—	29	0	0	0	
	上川北部圏計	239	—	239	113	85	0	—	0	437	3	12	15	
	富 良 野 市	42	—	42	55	4	1	—	1	102	0	0	0	
	上 富 良 野 町	23	—	23	29	3	0	—	0	55	0	0	0	
	中 富 良 野 町	35	—	35	13	0	0	—	0	48	0	0	0	
	南 富 良 野 町	3	—	3	9	7	—	—	—	19	0	1	1	
	占 冠 村	2	—	2	1	4	—	—	—	7	1	1	2	
	富良野圏計	105	—	105	107	18	1	—	1	231	1	2	3	
上川地域計		689	—	689	318	136	3	—	3	1,146	6	17	23	

注 1. 合計は、全国都道府市区町村別面積調（昭和49年建設省国土地理院）による。

なお、境界未定については、北海道市町村勢要覧（昭和50年北海道編）によった。

2. 農地は、1975年農業センサス農業事業体調査結果報告書（昭和50年11月北海道）による。

3. 草地は、利用草地については、1975年農業センサス農業事業体調査結果報告書（昭和50年11月北海道）による。

未利用草地（原野）は、1970年世界農林業センサス北海道統計書（林業編）による。

4. 林地は、1970年世界農林業センサス北海道統計書（林業編）による。（除地、更新困難地を含む。）

5. 宅地は、北海道市町村勢要覧（昭和50年北海道編）の1.土地による。

地		林 地											宅	そ	合
未(利 用原 草野 地)	草 地 計	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地	林 地 計	地	の 他	計
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 に 草 利 放 牧 し て い る 土 地	そ の 他	計					
0	2	76	1	77	88	377	465	0	12	12	6	560	2	70	676
0	2	12	1	13	40	159	199	—	2	2	5	219	0	42	275
1	1	36	4	40	191	262	453	0	14	14	32	539	1	28	598
115	130	479	15	494	687	1,835	2,522	2	123	125	77	3,218	17	405	4,207
4	4	62	1	63	152	172	324	—	16	16	21	424	11	61	602
31	31	48	0	48	13	32	45	—	7	7	18	118	2	33	239
3	3	17	0	17	1	17	18	0	3	3	0	38	2	17	108
5	6	78	1	79	215	246	461	—	18	18	33	591	2	49	667
2	4	69	0	69	201	239	440	—	15	15	7	531	0	29	571
45	48	274	2	276	582	706	1,288	0	59	59	79	1,702	17	189	2,187
189	212	1,199	25	1,224	1,895	3,579	5,474	3	311	314	425	7,437	91	984	9,870

6. その他は、合計から注2～4の面積を差引いて算出した。

7. 上記の統計資料と数値の異なるものがあるが、これは数値の1 Km²未満は四捨五入の算法を用いたものである。

1-2. D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区 分 市	市 街 地 の 内						
	商 業 区	工 業 区			住 宅 区	そ の	
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区
旭 川 市	4 (4.08)	—	15 (15.49)	15 (15.49)	45 (46.38)	—	1

注1. 合計面積、市街地外の農地、草地、林地は、表1-1市町村別土地利用現況面積内訳によった。

2. 市街地の内訳は、道告示昭和48年3月13日（変更）の市街化区域面積及び道告示昭和49

- ・ 商 業 区……………近隣商業地域、商業地域
- ・ 軽 工 業 地……………準工業地域、工業地域、工業専用地域
- ・ 住 宅 区……………第1種及び第2種住居専用地域、住居地域
- ・ 運 輸 区……………市街地開発事業地域
- ・ 公 共 区……………旭川圏都市計画図($\frac{1}{25,000}$)より概測した。
- ・ 市 街 地 計……………市街化区域面積

3. 宅地、公共用地、その他の面積は、合計面積より上記1、2の面積を差引いて算出した。

4. ()書は、注2の区分による用途地域面積及び市街化区域面積である。

(単位 Km²)

訳		市 街 地 外 の 内 訳								合 計
他		市 街 地 計	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 用 共 地	その他	計	
公共区	計									
1	2	66 (65.95)	164	13	394				683	749

年 6 月 1 日の用途地域面積を参考とした。

2. 自然的土地条件

2-1. 市町村別傾斜区分別面積内訳

(単位 Km²)

傾斜区分 市町村		S ₁ 0° 3°	S ₂ 3° 8°	S ₃ 8° 15°	S ₄ 15° 20°	S ₅ 20° 30°	S ₆ 30° 40°	S ₇ 40° 以上	未 区 分	計
上 川 地 域	旭川市	249	57	90	162	176	5	—	10	749
	鷹栖町	65	16	28	18	11	—	—	—	138
	東神楽町	39	28	2	—	—	—	—	—	69
	当麻町	54	12	105	12	23	—	—	—	206
	比布町	38	5	23	10	15	—	—	—	91
	愛別町	37	2	42	87	76	3	—	—	247
	上川町	78	55	126	99	213	309	171	3	1,054
	東川町	41	14	79	62	33	17	4	—	250
	美瑛町	92	161	138	83	115	83	—	—	672
	上川中部圏計	693	350	633	533	662	417	175	13	3,476
上 川 地 域	士別市	173	23	114	145	120	26	—	—	601
	名寄市	90	22	114	31	59	—	—	—	316
	和寒町	55	14	55	54	46	—	—	—	224
	剣淵町	73	10	24	14	9	—	—	—	130
	朝日町	43	8	41	66	208	154	—	5	525
	風連町	77	35	18	44	45	—	—	—	219
	下川町	46	—	104	134	307	52	—	—	643
	美深町	86	39	86	155	294	16	—	—	676
	音威子府村	29	—	48	8	83	107	—	—	275
	中川町	69	14	56	59	233	155	12	—	598
上 川 地 域	上川北部圏計	741	165	660	710	1,404	510	12	5	4,207
	富良野市	154	85	115	47	160	31	10	—	602
	上富良野市	47	121	43	5	14	9	—	—	239
	中富良野市	52	8	42	—	6	—	—	—	108
	南富良野市	104	57	94	92	193	83	35	9	667
	占冠村	20	6	53	87	252	150	3	—	571
	富良野圏計	377	277	347	231	625	273	48	9	2,187
上川地域計		1,811	792	1,640	1,474	2,691	1,200	235	27	9,870

2-2 市町村別標高区分別面積内訳

(単位 Km^2)

標高区分 市町村		0m 100m	100m 200m	200m 400m	400m 600m	600m 800m	800m 1000m	1000m 1500m	1500m 以上	未 区 分	計
上	旭川市	15	327	242	105	34	13	3	—	10	749
	鷹栖町	0	93	38	7	—	—	—	—	—	138
	東神楽町	—	25	42	2	—	—	—	—	—	69
	当麻町	—	58	97	32	15	4	—	—	—	206
	比布町	—	38	36	12	5	—	—	—	—	91
	愛別町	—	4	110	98	28	5	2	—	—	247
	上川町	—	—	50	137	204	220	340	100	3	1,054
	東川町	—	12	69	35	32	29	45	28	—	250
	美瑛町	—	11	221	135	96	47	98	64	—	672
	上川中部圏計	15	568	905	563	414	318	488	192	13	3,476
川	士別市	—	245	270	67	18	1	—	—	—	601
	名寄市	58	135	73	39	9	2	—	—	—	316
	和寒町	—	72	124	26	2	—	—	—	—	224
	剣淵町	—	94	35	1	—	—	—	—	—	130
	朝日町	—	3	123	172	112	71	39	—	5	525
	風連町	4	102	85	20	8	—	—	—	—	219
	下川町	—	61	251	231	88	11	1	—	—	643
	美深町	70	116	215	178	87	10	—	—	—	676
	音威子府村	44	76	110	34	6	5	—	—	—	275
	中川町	128	144	213	87	26	—	—	—	—	598
地 域	上川北部圏計	304	1,048	1,499	855	356	100	40	—	5	4,207
	富良野市	—	45	236	150	83	40	43	5	—	602
	上富良野町	—	8	120	52	20	13	18	8	—	239
	中富良野町	—	47	47	13	1	—	—	—	—	108
	南富良野町	—	—	60	236	204	91	60	7	9	667
	占冠村	—	—	49	237	217	56	12	—	—	571
	富良野圏計	—	100	512	688	525	200	133	20	9	2,187
上川地域計		319	1,716	2,916	2,106	1,295	618	661	212	27	9,870

2-3. 市町村別地形区分別面積内訳

地形区分 市町村		山地・火山地					丘陵地		
		大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計
上川地域	旭川市	—	72	272	16	360	8	27	35
	鷹栖町	—	—	27	4	31	19	21	40
	東神楽町	—	—	—	—	—	—	—	—
	当麻町	—	—	92	—	92	18	27	45
	比布町	—	2	29	3	34	9	3	12
	愛別町	—	36	126	—	162	2	4	6
	上川町	221	304	251	—	776	—	—	—
	東川町	15	22	129	2	168	—	—	—
	美瑛町	89	128	81	3	301	6	20	26
	上川中部圏計	325	564	1,007	28	1,924	62	102	164
上川地域	士別市	—	15	168	5	188	134	18	152
	名寄市	—	28	61	18	107	3	4	7
	和寒町	—	—	83	19	102	41	11	52
	剣淵町	—	—	7	—	7	28	—	28
	朝日町	20	142	288	5	455	—	—	—
	風連町	—	12	40	3	55	36	21	57
	下川町	9	123	337	14	483	27	8	35
	美深町	—	71	360	38	469	57	—	57
	音威子府村	—	53	131	11	195	26	—	26
	中川町	—	19	400	2	421	69	—	69
	上川北部圏計	29	463	1,875	115	2,482	421	62	483
上川地域	富良野市	90	49	93	25	257	15	51	66
	上富良野町	24	18	13	29	84	—	5	5
	中富良野町	—	—	19	4	23	—	23	23
	南富良野町	98	153	147	42	440	4	18	22
	占冠村	22	197	267	15	501	28	—	28
	富良野圏計	234	417	539	115	1,305	47	97	144
上川地域計		588	1,444	3,421	258	5,711	530	261	791

台 地 ・ 段 丘				低 地				未 区 分	計
砂 礫	ロ ム	岩 石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防 砂 州	計		
101	—	50	151	193	—	—	193	10	749
24	—	—	24	43	—	—	43	—	138
9	—	26	35	34	—	—	34	—	69
4	—	10	14	55	—	—	55	—	206
—	—	4	4	41	—	—	41	—	91
17	—	24	41	38	—	—	38	—	247
70	—	154	224	51	—	—	51	3	1,054
35	—	26	61	21	—	—	21	—	250
11	—	217	228	117	—	—	117	—	672
271	—	511	782	593	—	—	593	13	3,476
122	—	17	139	122	—	—	122	—	601
127	—	—	127	71	—	4	75	—	316
20	—	2	22	48	—	—	48	—	224
40	—	—	40	55	—	—	55	—	130
5	—	21	26	39	—	—	39	5	525
44	—	—	44	63	—	—	63	—	219
62	—	—	62	63	—	—	63	—	643
88	—	—	88	59	—	3	62	—	676
19	—	1	20	34	—	—	34	—	275
11	—	11	22	81	—	5	86	—	598
538	—	52	590	635	—	12	647	5	4,207
46	—	157	203	76	—	—	76	—	602
7	—	95	102	48	—	—	48	—	239
—	—	12	12	50	—	—	50	—	108
27	—	108	135	61	—	—	61	9	667
6	3	—	9	33	—	—	33	—	571
86	3	372	461	268	—	—	268	9	2,187
895	3	935	1,833	1,496	0	12	1,508	27	9,870

2 - 4 市 町 村 別 表 層

地 域	市町村	未 固 結 堆 積 物								
		1. 粘 礫 土 砂	2. 砂	3. 粘 (シルト) 土	4. 泥 炭	5. 礫	6. 碎 屑 物	7. 礫 砂	8. 粘 砂 土 礫	合 計
上 川 地 域	上 川 中 部	旭 川 市	273.43		7.39					280.82
		鷹 栖 町	56.58		4.14					60.72
		東 神 楽 町	48.99							48.99
		当 麻 町	65.92							65.92
		比 布 町	44.59							44.59
		愛 別 町	46.93				4.94	2.47		54.34
		上 川 町	63.12					10.52	21.04	94.68
		東 川 町	57.5							57.5
		美 瑛 町	94.08				6.72			100.8
	上 川 北 部	士 別 市	162.27					12.02	36.06	210.35
		名 寄 市	101.12		3.16		3.16	44.24	69.52	221.2
		和 寒 町	51.52		8.96				4.48	64.96
		剣 淵 町	33.8		14.3			1.3	18.2	67.6
		朝 日 町	52.0					5.20		57.2
		風 連 町	61.32		8.76			28.47	15.33	113.88
		下 川 町	57.87					25.72		83.59
		美 深 町	67.6				13.52	33.8	6.76	121.68
		音威子府村	27.5				2.75	8.25		38.5
		中 川 町	77.74		5.98					83.72
	富 良 野	富 良 野 市	90.3		6.02		42.14	12.04		150.5
		上富良野市	47.80		4.78		54.97			107.55
		中富良野市	34.56		28.08		6.48			69.12
		南富良野市	32.90				19.74	32.90		85.54
		占 冠 村	34.26				22.84			57.1
	計	1683.7	0	0	91.57	0	177.26	216.93	171.39	2340.85

地質分布面積内訳 (1)

半 固 結 ～ 固 結 堆 積 物										
9. 礫 岩	10. 砂 岩	11. 泥 岩	12. 岩 砂 互 層 泥	13. 礫 砂 岩 岩	14. 泥 岩	15. 粘 板 岩	16. 岩 砂 互 層 泥	17. 岩 珪 （チャート） 岩 石 質	18. 石 灰 岩	合 計
31.56	7.39				29.56			7.39		44.34
					28.98					28.98
										0
					16.48	14.42		2.06		32.96
			12.35			29.64	14.82			0
	21.04					293.56				56.81
										346.16
										0
										0
72.80	24.04	12.02		12.02	54.09	42.07	24.04			168.28
		6.32		3.16						9.48
					4.48		6.72			11.2
	41.60			1.3		1.3				2.6
				10.40		109.20				244.4
	12.86					192.9				0
	13.52	20.28			27.04	6.76				205.76
	16.5		16.5		57.75		68.75			67.6
	65.78	23.92			155.48		131.56	5.98		159.5
										382.72
	30.1		6.02		60.2			18.06		114.38
										0
	1.08							3.24		4.32
	32.90				59.22	26.32	14.16	39.48		172.08
	28.55		51.39		108.49	102.78	57.1	5.71		354.02
104.36	295.36	62.54	96.66	26.88	601.77	818.95	317.15	81.92	0	2405.59

2 - 4 市 町 村 別 表 層

地 域	市町村	火 山 性 岩 石										
		19. 火 炭	20. 口 I △	21. 堆軽 積石 物流	22. 屑火 山 物碎	23. 質凝 岩灰 石岩	24. 岩火 質山 岩角 石礫	25. 質流 岩紋 石岩	26. 質安 岩山 石岩	27. 質玄 岩武 石岩	28. 質輝 凝緑 灰岩	合 計
上 川 地 域	上 川 中 部	旭 川 市		51.73					66.51		14.78	133.02
		鷹 栖 町							9.66			9.66
		東 神 楽 町		20.01								20.01
		当 麻 町		12.36			2.06		84.46		8.24	107.12
		比 布 町					8.19		36.40		0.91	45.5
		愛 別 町		12.35			12.35	4.94	98.8		2.47	130.91
		上 川 町		157.80		10.52			420.80			589.12
		東 川 町		65.0				5.0	122.5			192.5
		美 瑛 町		288.96	6.72	6.72			235.2		20.16	557.76
	上 川 北 部	士 別 市					84.14		54.09		30.05	168.28
		名 寄 市					37.92		47.4			85.32
		和 寒 町					53.76		71.68		8.96	134.4
		剣 淵 町					59.8					59.8
		朝 日 町							176.80			176.80
		風 連 町					85.41		19.71			105.12
		下 川 町				32.15	77.16	77.16	147.89		6.43	340.79
		美 深 町					155.48		331.24			486.72
	富 良 野	音威子府村							35.75		11.0	46.75
		中 川 町					101.66				5.98	107.64
		富 良 野 市		228.76				6.02	42.14	6.02	36.12	319.06
		上富良野市		100.38					16.73	14.34		131.45
		中富良野市		20.52							9.72	30.24
	占 冠 村	南富良野市		156.64					26.32		59.22	242.18
											102.78	102.78
	計	0	0	1114.51	6.72	49.39	677.93	93.12	2044.08	20.36	316.82	4322.93

地 質 分 布 面 積 内 訳 (2)

深 成 岩 類					変 成 岩 類				そ の 他 (湖・沼 河川等)	合 計 Km ²	備 考
29. 斑 岩	30. 質花 岩崗 石岩	31. 岩岩はん れ 石質い	32. 質蛇 岩紋 石岩	合 計	33. フホ エル スン	34. 岩岩結 晶 石質片	35. 質片 岩麻 石岩	合 計			
			36.95	36.95		243.87		243.87	10	749	
			9.66	9.66		28.98		28.98		138	
			0	0				0		69	
			0	0				0		206	
			0	0		0.91		0.91		91	
	4.94			4.94				0		247	
	21.04			21.04				0	大雪ダム 3 Km ²	1054	
				0				0		250	
		6.72		6.72		6.72		6.72		671	
	36.06		18.03	54.09				0		601	
				0				0		316	
			11.2	11.2		2.24		2.24		224	
				0				0		130	
	15.60	20.80		36.4	5.20			5.20	岩尾内ダム 5 Km ²	525	
				0				0		219	
	12.86			12.86				0		643	
				0				0		676	
			30.25	30.25				0		275	
			23.92	23.92				0		598	
6.02			6.02	12.04	6.02			6.02		602	
				0				0		239	
			1.08	1.08		3.24		3.24		108	
	26.52		19.74	46.26	78.96		32.98	111.94	金山ダム 9 Km ²	667	
		5.71	17.13	22.84			34.26	34.26		571	
6.02	117.02	33.23	173.98	330.25	90.18	285.96	67.24	443.38	27	9870	

2 - 5 市 区 町 別 土 壤

土 壤 群		岩石地・岩屑土			未 熟 土				くろぼく土			
市町村	土壌統群 または 混在区	高山 性岩石 地 岩屑土 壤↓	岩石 地 壤↓	計	残 積性 未熟土 壤	火 山 抛 出物 未熟土 壤	粗 粒 火 山 抛 出物 未熟土 壤	湿 性粗粒 火 山 未 抛 出物 未熟土 壤	計	湿 性累層 くろ ぼく土 壤	くろ ぼく土 壤	計
旭 川 市			3.59	3.59	4.54				4.54			
鷹 栖 町			5.90	5.90	12.15				12.15			
東 神 楽 町												
当 麻 町			6.70	6.70								
比 布 町			2.37	2.37								
愛 別 町			1.14	1.14								
上 川 町	100.39	12.43	112.82									
東 川 町	30.33	14.76	45.09									
美 瑛 町	34.50	3.58	38.08	34.78	20.16	6.03	1.72	62.69				
上川中部圏計	165.22	50.47	215.69	51.47	20.16	6.03	1.72	79.38				
士 別 市							2.63		2.63			
名 寄 市												
和 寒 町												
剣 淵 町												
朝 日 町												
風 連 町												
下 川 町												
美 深 町												
音 威 子 府 村												
中 川 町												
上川北部圏計							2.63		2.63			
富 良 野 市				4.19					4.19			
上富良野町					8.42	2.82	5.37	16.61				
中富良野町				2.10				2.10				
南富良野町						3.68		3.68	3.11	95.04		98.15
占 冠 村									0.91	23.66		24.57
富 良 野 圏 計				6.29	8.42	6.50	5.37	26.58	4.02	118.70		122.72
上川地域計	165.22	50.47	215.69	57.76	28.58	15.16	7.09	108.59	4.02	118.70		122.72

統 群 分 布 面 積 内 訳 (1)

(Km²)

褐色森林土								ポドゾル				暗赤色土	
褐色森林土壌 Ⅰ	褐色森林土壌 Ⅱ	褐色森林土壌 Ⅲ	褐色森林土壌 Ⅳ	褐色森林土壌 Ⅰ くろぼく土壌	褐色森林土壌 Ⅰ ポドゾル化土壌	暗色系ポドゾル 褐色森林土壌 ポドゾル化土壌	計	ポドゾル化土壌 Ⅰ	ポドゾル化土壌 Ⅱ	ポドゾル化高岩屑土壌 Ⅰ	計	暗赤色土壌	計
21.05	327.39	34.13			26.78	2.11	411.46		26.88		26.88		
2.71	50.80						53.51						
	22.13		6.32				28.45						
	138.99				4.97	4.66	148.62					0.60	0.60
3.52	41.46		5.10				50.08					0.70	0.70
35.28	141.73		6.74		7.90	14.22	205.87						
	362.54	14.91	3.51		259.47	188.36	828.79	31.81		44.71	76.52		
	86.65				54.97		141.62			19.34	19.34		
6.72	344.46					80.64	431.82		32.94	52.86	85.80		
69.28	1516.15	49.04	21.67		354.09	289.99	2300.22	31.81	59.82	116.91	208.54	1.30	1.30
22.62	350.99		59.67				433.28		9.99		9.99		
	171.94		62.74				234.68						
15.70	143.35		16.17				175.22						
	47.77		12.48				60.25						
9.57	254.02		10.75		14.86	181.47	470.67			14.85	14.85		
	91.02		46.79			11.73	149.54						
4.07	405.51		27.66		12.73	143.54	593.51			0.61	0.61		
	447.08	9.52	18.98			114.91	590.49						
6.49	179.66		5.65		2.71	20.02	214.53		25.44		25.44		
25.02	438.13	28.29	6.10		1.38	17.41	516.33						
83.47	2529.47	37.81	266.99		31.68	489.08	3438.50		35.43	15.46	50.89		
13.95	403.64	3.17				79.25	500.01	8.24		9.46	17.70		
	131.02					32.54	163.56			8.42	8.42		
	44.83						44.83						
7.36	278.00		45.31	37.35		165.21	533.23			15.25	15.25		
8.65	350.76		8.03			133.36	500.80		14.25	4.67	18.92		
29.96	1208.25	3.17	53.34	37.35		410.36	1742.43	8.24	14.25	37.80	60.29		
182.71	5253.87	90.02	342.00	37.35	385.77	1189.43	7481.15	40.05	109.50	170.17	319.72	1.30	1.30

2 - 5 市 区 町 別 土 壤

土 壤 群 土 壤 統 群 また は 混 在 区 市 町 村	褐 色 低 地 土			灰 色 低 地 土				灰 色 台 地 土	
	褐 色 低 地 土 壤	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壤	灰 色 低 地 土 壤	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計	灰 色 台 地 土 壤	計
旭 川 市	44.40	27.12	71.52	8.38	35.81	21.68	65.87	59.37	59.37
鷹 栖 町	1.37		1.37	18.07	0.23		18.30	19.88	19.88
東 神 楽 町	2.72	2.93	5.65		6.34	11.97	18.31	16.59	16.59
当 麻 町	9.58	3.32	12.90	0.88	14.32		15.20	8.13	8.13
比 布 町	9.64	1.81	11.45	3.28	11.09	0.20	14.57		
愛 別 町	2.00	19.66	21.66	1.33	9.62	0.72	11.67	3.12	3.12
上 川 町	2.51	18.83	21.34		6.26		6.26	1.73	1.73
東 川 町	4.17	20.22	24.39		9.68	9.11	18.79	0.10	0.10
美 瑛 町	18.65	2.49	21.14	3.49	11.67	6.75	21.91	7.42	7.42
上川中部圏計	95.04	96.38	191.42	35.43	105.02	50.43	190.88	116.34	116.34
士 別 市	59.57	14.44	74.01	4.81	6.09		10.90	37.47	37.47
名 寄 市	22.18	3.75	25.93	5.31	2.91	1.26	9.48	21.10	21.10
和 寒 町	2.17		2.17	6.21	8.70		14.91	4.53	4.53
剣 淵 町	3.78		3.78	0.19	2.22		2.41	16.55	16.55
朝 日 町	20.78	11.94	32.72			0.97	0.97	0.33	0.33
風 連 町	25.12	4.74	29.86	3.75	0.91		4.66	17.08	17.08
下 川 町	17.19	12.65	29.84	3.59	0.77		4.36	12.43	12.43
美 深 町	21.57	21.95	43.52	27.35	0.88	0.13	28.36	2.63	2.63
音 威 子 府 村	4.53	10.43	14.96	8.97			8.97	5.34	5.34
中 川 町	25.83	0.85	26.68	15.69		0.82	16.51	14.16	14.16
上川北部圏計	202.72	80.75	283.47	75.87	22.48	3.18	101.53	131.62	131.62
富 良 野 市	14.42	35.69	50.11		11.01	0.45	11.46		
上富良野町	21.11	16.00	37.11			1.32	1.32		
中富良野町	9.90	2.17	12.07		0.54		0.54		
南富良野町	1.88	4.95	6.83			0.22	0.22		
占 冠 村	17.18	6.81	23.99						
富 良 野 圏 計	64.49	65.62	130.11		11.55	1.99	13.54		
上川地域計	362.25	242.75	605.00	111.30	139.05	55.60	305.95	247.96	247.96

統 群 分 布 面 積 内 訳 (2)

(Km)

グ ラ イ ス				泥 炭 土 壤						未 区 分 地				合 計
細粒グライ土壤	グライ土壤	粗粒グライ土壤	計	高位泥炭土壤	中間泥炭土壤	低位泥炭土壤	計	氾砂濫礫原地	計	市街地	河川	ダム	計	
8.09	7.61		15.70			8.07	8.07	3.00	3.00	69.00	10.00		79.00	749.00
15.07	2.34		17.41			9.48	9.48							138.00
11.44			11.44	0.23		2.18	2.41							69.00
3.05	3.88	2.18	9.11					2.72	2.72					206.00
1.81	1.12	0.08	3.01			0.53	0.53							91.00
	0.99	0.56	1.55	1.99			1.99					3.00	3.00	247.00
	0.67		0.67											1054.00
	0.90		0.90	2.24			2.24							250.00
														672.00
39.46	17.51	2.82	59.79	4.46		20.26	24.72	5.72	5.72	69.00	10.00	3.00	82.00	3476.00
23.51	4.78		28.29			4.43	4.43							601.00
22.12			22.12		0.03	2.66	2.69							316.00
14.27	3.08		17.35		4.25	5.57	9.82							224.00
31.23			31.23		1.98	13.80	15.78							130.00
0.46			0.46									5.00	5.00	525.00
12.54	1.33		13.87		1.02	2.97	3.99							219.00
2.25			2.25											643.00
0.30			0.30			0.58	0.58	10.12	10.12					676.00
								5.76	5.76					275.00
0.61			0.61		0.53	8.70	9.23	14.48	14.48					598.00
107.29	9.19		116.48		7.81	38.71	46.52	30.36	30.36			5.00	5.00	4207.00
1.00	5.63	0.14	6.77	4.60		7.16	11.76							602.00
	3.81	2.81	6.62			5.36	5.36							239.00
0.80	14.03	7.72	22.55	1.20	2.11	22.60	25.91							108.00
	0.08	0.51	0.59			0.05	0.05					9.00	9.00	667.00
		1.94	1.94		0.05	0.73	0.78							571.00
1.80	23.55	13.12	38.47	5.80	2.16	35.90	43.86					9.00	9.00	2187.00
148.55	50.25	15.94	214.74	10.26	9.97	94.87	115.10	36.08	36.08	69.00	10.00	17.00	96.00	9870.00

3. 土地利用可能性分級

3-1. 市町村別土地利用可能性分級別面積内訳

市町村 土地利用 可能性 分級	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
旭 川 市	232	94.66	173.57	355.15
鷹 栖 町	—	21.65	76.73	39.36
東 神 楽 町	—	10.68	31.92	26.40
当 麻 町	—	29.67	133.28	26.61
比 布 町	—	23.57	40.55	23.11
愛 別 町	—	3.25	45.49	172.02
上 川 町	44.0	60.48	34.49	160.42
東 川 町	1.67	12.31	64.19	63.21
美 瑛 町	42.6	56.66	179.38	170.03
上川中部圏計	126.5	312.83	779.60	1,046.31
士 別 市	2.41	63.87	194.66	311.00
名 寄 市	—	25.94	170.09	106.25
和 寒 町	—	6.76	115.12	100.70
剣 淵 町	—	5.61	93.38	31.01
朝 日 町	13.0	19.47	30.51	207.50
風 連 町	4.84	36.11	64.48	100.71
下 川 町	—	11.04	102.92	360.07
美 深 町	7.62	65.31	97.34	386.94
音 威 子 府 村	—	9.03	63.87	87.06
中 川 町	—	58.60	47.40	298.51
上川北部圏計	16.17	301.74	969.77	1,989.75
富 良 野 市	—	65.56	239.05	179.02
上 富 良 野 市	—	30.44	130.24	29.88
中 富 良 野 市	—	2.58	84.19	1.992
南 富 良 野 市	—	28.80	84.61	290.79
占 冠 村	—	14.70	38.49	260.64
富良野圏計	—	142.08	576.58	780.25
上 川 地 域 計	288.2	756.55	2,325.95	3,816.31

(単位 Km^2)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計
4 285	4.12	—	76.33	749.00
—	0.36	—	—	138.00
—	—	—	—	69.00
43.2	1.06	—	1.06	206.00
—	2.59	—	1.18	91.00
97.9	16.45	—	—	247.00
253.70	270.87	264.64	5.00	1,054.00
43.95	21.71	42.96	—	250.00
56.08	140.34	62.97	2.28	672.00
410.69	457.50	370.57	85.85	3,476.00
24.59	—	—	4.47	601.00
6.71	1.75	—	5.26	316.00
—	—	—	1.42	224.00
—	—	—	—	130.00
145.53	115.07	—	5.62	525.00
11.55	—	—	1.31	219.00
151.68	15.43	—	1.86	643.00
85.40	31.64	—	1.75	676.00
107.16	17.88	—	—	675.00
160.94	23.44	9.11	—	598.00
693.56	205.21	9.11	21.69	4,207.00
46.10	50.83	18.03	3.41	602.00
7.43	28.71	6.96	5.34	239.00
—	—	—	1.31	108.00
108.16	110.29	32.96	11.39	667.00
206.69	46.75	3.73	—	571.00
368.38	236.58	61.68	21.45	2,187.00
1,472.63	899.29	441.36	128.99	9,870.00

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1. 土地利用可能性分級と地形区分との関連

土地利用 可能性 分級 地形区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
山地・火山地	5.02	6 6 6 1	4 7 7 2 4	2 4 0 6 6 8
丘陵地	—	6 4 7 7	5 3 7 6	1 0 1 9 4
台地・段丘	2 7 7 4	2 1 2 5 5	1 1 4 0 9 0	9 9 7 7 0
低地	8.77	4 0 0 0 1	6 5 4 0 5	3 0 9 9 9
合 計	4 1 5 3	7 4 3 9 4	2 3 2 5 9 5	3 8 1 6 3 1

3-2-2. 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

土地利用 可能性 分級 傾斜区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
0°～ 3°(S ₁)	4 1 5 3	5 6 9 9 2	8 2 5 5 1	2 1 6 7 0
3°～ 8°(S ₂)	—	1 7 4 0 2	3 7 1 3 3	1 5 0 4 0
8°～15°(S ₃)	—	—	1 1 2 9 1 1	1 4 9 6 0
15°～30°(S ₄)	—	—	—	3 2 9 9 6 1
30°～40°(S ₅)	—	—	—	—
40°～ (S ₆)	—	—	—	—
未 区 分 地	—	—	—	—
合 計	4 1 5 3	7 4 3 9 4	2 3 2 5 9 5	3 8 1 6 3 1

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
1,191.05	478.89	136.29	—	4,761.78	
183.59	326.36	288.85	—	1,029.27	
66.69	30.87	1.66	41.07	2,519.18	
31.30	63.17	4.56	87.92	1,559.77	
1,472.63	899.29	441.36	128.99	9,870.00	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
20.76	67.62	3.95	—	1,745.99	
49.92	12.16	21.47	—	779.30	
195.02	114.14	54.38	—	1,642.25	
463.62	334.85	56.17	—	4,154.25	
743.31	370.52	81.75	—	1,195.58	
—	—	223.64	—	223.64	
—	—	—	128.99	128.99	
1,472.63	899.29	441.36	128.99	9,870.00	

3-2-3. 土地利用可能性分級と標高区分との関連

土地利用可能性 分級 標高区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
低 暖 地 帯 (H ₁)	41.53	531.39	2,026.61	2,000.50
山 間 地 帯 (H ₂)	—	212.55	299.34	1,815.81
高 冷 地 帯 (H ₃)	—	—	—	—
生産限界外 地 帯 (H ₄)	—	—	—	—
未 区 分 地	—	—	—	—
合 計	41.53	743.94	2,325.95	3,816.31

3-2-4. 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

土地生産方可 土壌生産力可能性 分級 格納区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
はなはだよい (P ₁)	41.53	242.55	591.71	2,668.40
ややよい (P ₂)	—	501.39	111.55	156.99
やや劣る (P ₃)	—	—	1,622.69	696.88
劣 る (P ₄)	—	—	—	294.04
はなはだ劣る (P ₅)	—	—	—	—
(P ₀)	—	—	—	—
未 区 分 地	—	—	—	—
合 計	41.53	743.94	2,325.95	3,816.31

(単位 Km^2)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
224.99	64.06	7.24	—	4,896.32	
973.31	—	285.9	—	3,329.60	
274.33	835.23	195.76	—	1,305.32	
—	—	209.77	—	209.77	
—	—	—	128.99	128.99	
1,472.63	899.29	441.36	128.99	9,870.00	

(単位 Km^2)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	合 計	備 考
647.26	29.56	18.34	—	4,239.35	
23.94	6.68	3.77	—	804.32	
219.78	47.25	81.30	—	2,667.90	
581.65	654.55	68.66	—	1,598.90	
—	161.25	71.13	—	232.38	
—	—	198.16	—	198.16	
—	—	—	128.99	128.99	
1,472.63	899.29	441.36	128.99	9,870.00	

3-3. 土地利用可能性分級別主要地域の概要

地 域 名		1 類 地	2 類 地	3 類 地
			旭 川	富 良 野
地 形	傾 斜 谷 密 度 標 高 (植 栽 限 界)		S ₁ —S ₄ (0~30°) (1—8) 0~400m	S ₁ —S ₃ (0~15°) (3—15) 0~400m
表 層 地 質	岩 石 の 種 類 岩 石 の か た さ 時 代		砂礫・粘土_溶結凝灰岩 結晶片岩類 結晶片岩類 軟 — 硬 第 4 紀 — 白 亜 紀	砂礫・泥岩_砂岩泥岩 溶結凝灰石 互層 軟 — 硬 第 4 紀 — 白 亜 紀
土 壤	農 地 土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級		粗粒褐色低地土壌(Ⅲ) 灰色台地土壌(Ⅳ)	粗粒褐色低地土壌(Ⅲ) 灰色低地土壌(Ⅱ—Ⅲ)
	林 地 土 壤 統 群 地 位 級		褐色森林土壌Ⅱ (Ⅰ)	褐色森林土壌Ⅱ (Ⅰ~Ⅱ)
水 利 用	地 表 水		○	○
	地 下 水		○	○
	天 水		○	○
気 候 区 分			内 陸 盆 地 部	〃
面 積	土地利用可能性類地別 面積支庁内合計(A)		743.94	2,325.95
	当該地域の類地別 面 積 (B)		94.66	239.05
	% (B / A)		12.7	10.3

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	備 考
下 川	中 川	上 川	上 川	
S_3-S_4 (15~30°) (7—14) 0~800 m	S_4-S_5 (15~40°) (25—30) 0~800 m	S_4-S_5 (15~40°) (10—15) 800~1,500 m	S_3-S_5 (8~40°) (10—17) 1500 m 以上	
砂礫・泥岩 粘板岩 溶結凝灰石 流紋岩質岩— 石・凝灰岩 チャート 軟 — 硬 (白亜紀を含む) 第4紀 — 第3紀	粘板岩—砂岩泥岩互 層・輝緑岩 ジャモン岩 軟 — 硬 白 亜 紀	安山岩類 粘板岩 流紋岩 花崗岩 砂岩泥岩互 層 砂礫・砂岩 硬 第3紀 — 白亜紀	安山岩類 粘板岩 溶結凝灰岩—類 砂礫層 花崗岩 軟 — 硬 第4紀 — 白亜紀	} この部分 が抜けて おりました。
褐色森林土壌Ⅳ(Ⅲ)				
褐色森林土壌Ⅱ (Ⅰ~Ⅱ)	褐色森林土壌Ⅱ (Ⅰ~Ⅱ) 褐色森林土—ポドゾ ル化土壌(Ⅲ) 暗色系褐色森林土— ポドゾル化土壌(Ⅳ)	褐色森林土—ポドゾ ル化土壌(Ⅲ) 暗色系褐色森林土— ポドゾル化土壌(Ⅳ)	高山性岩屑土壌—岩 石地(0) 岩屑土壌—岩石地 (0)	
○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	} 同 上
〃	〃	〃	〃	
3,816.31 386.94 10.1	1472.63 160.94 10.9	899.29 270.87 30.1	441.36 264.64 60.0	

3-4. 市町村別土地利用可能性分級別内訳

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況														備 考	
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他				
				普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林						
	類地区分および 含まれる示性式	面 積 km ²	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率			
旭 川 市	1 類地	111	2	A	水稻117													
	2 類地	112, 122, 221	9.5	A	水稻114													
	3 類地	113, 123, 131 132, 133, 231	17.4	C	水稻107	D	小豆 ばいれし 牧草	108 90 86	(D)	りんご	85		D	トドマン カラマン	100 90	C	トドマン 広葉樹	70 70
	4 類地	114, 124, 134, 141, 142, 143, 144, 233, 241, 243	35.5			D	牧草	82							A	トドマン 広葉樹	55 60	
	5 類地	234, 244, 254, 333, 343	4.3												A	広葉樹	40	
	6 類地	115	4												A	広葉樹	30	
	7 類地																	
	8 類地		7.6															自衛隊 (飛行場)
市 町 村 計		74.9																
鷹 栖 町	1 類地																	
	2 類地	112	2.2	A	水稻109													ゴルフ場
	3 類地	113, 123, 131 133, 231	7.7	C	水稻106										B	広葉樹	70	
	4 類地	114, 141, 143 241, 243	3.9	D	水稻100							D	トドマン カラマン	80 70	B	トドマン 広葉樹	60 60	
	5 類地																	
	6 類地	115	0															
	7 類地																	
	8 類地		0															
市 町 村 計		13.8																

注1. (D)は5%未満であるが、特記すべきものを示した。 2. 8類地は市街地、湖沼、河川である。
3. 水田、畑、草地は農林統計を基準とし、関係機関と協議し概定した。

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他		
				普 通 畑	樹 園 地		土 地	草地の種類	人 工 林		天 然 林					
	類地区分および包含される示性式	面 積 km²	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	利 用 占有率	および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	
東 神 楽 町	1 類 地															飛行場、ゴルフ場
	2 類 地	112	11	A	水稻11	D	牧草 95				C	トドマン 100 カラマン 90	D	広葉樹 70		
	3 類 地	113,123,133	32	C	水稻107	D	牧草 90				D	トドマン 80 カラマン 70	D	広葉樹 60		
	4 類 地	114,124,243	26	B	水稻101											
	5 類 地															
	6 類 地															
	7 類 地															
	8 類 地		0													
市 町 村 計		69														
当 麻 町	1 類 地															
	2 類 地	112,221	30	A	水稻110							D	広葉樹 80			
	3 類 地	113,123,131,132,133,231	133	D	水稻107						D	トドマン 100 カラマン 90	B	広葉樹 70 トドマン 70		
	4 類 地	114,134,141,142,241,243	37	D	水稻101						D	トドマン 80 カラマン 70	B	広葉樹 60 トドマン 65		
	5 類 地	251,323	4										A	広葉樹 40		
	6 類 地	115	1										A	広葉樹 30		
	7 類 地															
	8 類 地		1													
市 町 村 計		206														

市町 村 名	領 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備考
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他		
				普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林				
	類地区分および包含される示性式	面 積 km ²	土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	
比 布 町	1 類地															
	2 類地	112	24	A	水稲106	D	牧草 86					C	広葉樹	90		
	3 類地	113,123,131, 133,231	40	C	水稲101	D	牧草 70				C	トドマン 110 カラマン 90	D	広葉樹 トドマン	70 75	
	4 類地	141,233,241, 243	23								D	トドマン 80 カラマン 70	B	トドマン 広葉樹	70 60	
	5 類地															
	6 類地	115	3	A	水稲 98											
	7 類地															
	8 類地		1													
市 町 村 計		91														
愛 別 町	1 類地															
	2 類地	112	3	A	水稲101											
	3 類地	113,131,133, 231	46	C	水稲 99	D	小豆 102 牧草 86				D	トドマン 100 カラマン 90	C	広葉樹	70	
	4 類地	114,141,142, 143,223,233, 241,243	172	D	水稲 95						D	トドマン 80 カラマン 70	A	トドマン 広葉樹	65 60	
	5 類地	234,251	10	A	水稲 75											
	6 類地	344,115	16										A	トドマン 広葉樹	40 30	
	7 類地															
	8 類地		0													
市 町 村 計		247														

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考	
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他			
				普 通 畑	樹 園 地	土 地	草地の種類	人 工 林	天 然 林								
	類地区分および包含される示性式	面 積 km ²	土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	利 用 占有率	および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率		
上 川 町	1 類 地	111	4									A	広葉樹	100	除地		
	2 類 地	112, 211, 221	60		D	牧草	87			D	トドマツ 110 カラマツ 100	A	トドマツ 90 広葉樹 90				
	3 類 地	113, 132, 231	34	C	水稲	77	D	牧草	83	D	人工草地 92	D	トドマツ 100 カラマツ 90	C		トドマツ 80 広葉樹 70	
	4 類 地	141, 231, 223, 233, 241	161							D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	トドマツ 70 広葉樹 60				
	5 類 地	244, 251, 252, 254, 311, 321, 323, 331, 333, 342, 343	254							D	トドマツ 70 カラマツ 50	A	トドマツ 60 広葉樹 40				
	6 類 地	334, 344, 351, 352, 353, 354, 115, 355	271									A	トドマツ 50 広葉樹 30				
	7 類 地	210, 230, 240, 250, 262, 263, 320, 340, 350, 360, 361, 363, 364, 420, 430, 440, 450, 455, 460, 465	265									B	広葉樹	10		C	
	8 類 地		5														
市 町 村 計		1,054													大雪ダム		
東 川 町	1 類 地	111	2	D	水稲	111					A	トドマツ 110 カラマツ 100			除地		
	2 類 地	112, 122	12	C	水稲	109						B	広葉樹	90			
	3 類 地	113, 123, 132, 133, 231	64	C	水稲	106					B	トドマツ 100 カラマツ 90					
	4 類 地	141, 143, 233, 241, 243	63							D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	広葉樹	60			
	5 類 地	254, 331, 333, 341, 343	44									A	広葉樹	40			
	6 類 地	335, 345, 355	22									A	広葉樹	30			
	7 類 地	230, 330, 340, 350, 420, 430, 440, 450, 460	43									D	広葉樹	10		A	
	8 類 地		0														
市 町 村 計		250															

市 町 村 名	類 地 区 分	面 積 km ²	土 地 利 用 の 現 況														備 考	
			水 田		畑						草 地		林 地					空地・ その他
					普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林					
1 類地	111	4	土利 占有率	地用 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	地用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	地用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	地用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	地用 占有率		
美	2 類地	112, 122, 211, 221	57	D	水稲 95								D	トドマツ 110 カラマツ 100	B	トドマツ 80 広葉樹 90		
	3 類地	113, 123, 131, 133, 222, 231	180	D	水稲 90	C		ビート 105 はれいし 110 牧草 98 麦 95				D	トドマツ 100 カラマツ 90	C	トドマツ 70 広葉樹 70			
	4 類地	124, 141, 143, 144, 213, 223, 233, 241, 243	170			D		牧草 90	D	りんご 82		D	トドマツ 80 カラマツ 70	B	トドマツ 60 広葉樹 60			
	5 類地	214, 224, 234, 244, 251, 254, 341, 343	56											A	トドマツ 55 広葉樹 40			
英 町	6 類地	314, 324, 334, 344, 354, 335, 345, 355	140											B	広葉樹 30	B	除地	
	7 類地	350, 420, 425, 430, 435, 444, 445, 450, 454, 455	63												A		除地	
	8 類地		2															
市 町 村 計		672																
士 別 町	1 類地	111	2			A		小豆 114 牧草 90										
	2 類地	112	64	C	水稲 100	C		小豆 105 はれいし 107				D	トドマツ 100 カラマツ 90	D	広葉樹 80			
	3 類地	113, 123, 131, 132, 133, 231	195	D	水稲 95	D		小豆 107 はれいし 102 牧草 90 ビート 102 麦 98				B	トドマツ 90 カラマツ 70	D	トドマツ 65 広葉樹 70			
	4 類地	114, 134, 141, 142, 143, 144, 241, 243	311	D	水稲 91							D	トドマツ 80 カラマツ 60	A	トドマツ 50 広葉樹 50			
	5 類地	151, 254	25											A	広葉樹 30			
	6 類地																	
	7 類地																	
	8 類地		4															
市 町 村 計		601																

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・ その他	
					普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林			
	類地区分および 包含される 示性式	面 積 km²	土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	
寄 市	1 類地															自衛隊用地
	2 類地	112,122	26	C	水稻 90	D	ビート 115 とうもろこし 100 はげし 105 小豆 107 牧草 90				D	トドマツ 100 カラマツ 80	C	トドマツ 90 広葉樹 90		
	3 類地	113,123,131, 133,231	170	D	水稻 81	D	はげし 98 ビート 110 牧草 90				D	トドマツ 80 カラマツ 70	B	トドマツ 85 広葉樹 70		
	4 類地	114,124,134, 141,143,241	106			(D)	牧草 82						A	トドマツ 70 広葉樹 60		
	5 類地	234,244	7										A	広葉樹 40		
	6 類地	344	2										A	広葉樹 30		
	7 類地															
	8 類地		5													
市 町 村 計		316														
和 寒 町	1 類地															剣淵西部地区 農地開発事業
	2 類地	112	7	A	水稻 99											
	3 類地	113,123,131, 133	115	C	水稻 88	D	ビート 105 はげし 100 小豆 106 牧草 86					B	広葉樹 70			
	4 類地	114,141,143, 233,241,243	101			D	はげし 90 牧草 80			D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	広葉樹 60			
	5 類地															
	6 類地															
	7 類地															
	8 類地		1													
市 町 村 計		224														

市 町 村 名	類 地 区 分			土 地 利 用 の 現 況												備 考
				水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他	
					土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率		
	面 積 km ²	土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率		
剣 淵 町	1 類地														剣淵地区農地 開発事業	
	2 類地	112	6	A	水稲 95											
	3 類地	113,123,133	93	C	水稲 93	C	ビート はがれし 105 小豆 101 牧草 108 92				D	トドマン カラマン 90 70	D	広葉樹 70		
	4 類地	114,141,143 144	31	C	水稲 88	D	ビート はがれし 100 小豆 97 牧草 90				D	トドマン カラマン 80 60	D	広葉樹 50		
	5 類地															
	6 類地															
	7 類地															
	8 類地		0													
市 町 村 計		130														
朝 日 町	1 類地	111	1	A	水稲 88										岩尾内ダム	
	2 類地	112,221	19	C	水稲 88						C	トドマン 100 カラマン 90	C	トドマン 85 広葉樹 70		
	3 類地	113,231	30	C	水稲 83	D	ビート 106 はがれし 95 小豆 100				C	トドマン 80 カラマン 70	D	トドマン 70 広葉樹 60		
	4 類地	141,142,143, 213,223,233, 241,243	208								D	トドマン 70 カラマン 50	A	トドマン 65 広葉樹 40		
	5 類地	151,153,234, 244,251,253, 254	146								D	トドマン 45 カラマン 40	A	広葉樹 30		
	6 類地	334,344,351, 354,345,355	115										A	広葉樹 15		
	7 類地															
	8 類地		6													
市 町 村 計		525														

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他		
				普 通 畑	樹 園 地		土 地	草地の種類	人 工 林		天 然 林					
	類地区分および包含される示性式	面 積 km ²	土利 占有率	地用 率	平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	
風 連 町	1 類地	111	5			D 小豆 牧草 100 82					D トドマン カラマン	B 広葉樹	100			
	2 類地	112,121,122	36	B 水稻	92						D トドマン カラマン	D トドマン 広葉樹	85 90			
	3 類地	113,123,131, 133	64	C 水稻	90	D 小豆 はぎいし 牧草 95 88 78					D トドマン カラマン	B トドマン 広葉樹	75 70			
	4 類地	114,124,141, 142,143,144, 241	101	D 水稻	86	D 牧草	72				D トドマン カラマン	B 広葉樹	60			
	5 類地	234,244	12									A 広葉樹	40			
	6 類地															
	7 類地															
	8 類地		1													
市 町 村 計		219														
下 川 町	1 類地														下川地区国営 農地開発事業	
	2 類地	112	11	B 水稻	85	D ビート はぎいし 牧草 90 87 78					C トドマン 110 カラマン 100	D トドマン 広葉樹	90 90			
	3 類地	113,123,131, 133,212,231	103	(D) 水稻	75	D 牧草	71				D トドマン 100 カラマン 90	B トドマン 広葉樹	85 70			
	4 類地	114,134,141, 142,143,241, 243	360								D トドマン 80 カラマン 70	A 広葉樹	60			
	5 類地	234,244,251, 254	152									A 広葉樹	40			
	6 類地	344,354	15									A 広葉樹	30			
	7 類地															
	8 類地		2													
市 町 村 計		643														

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・ その他	
					普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林			
	類地区分および包含される示性式	面 積 km ²	土利 占有率	平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	
美 深 町	1 類地	111	8									D	トドマツ 110 カラマツ 100	C	トドマツ 90 広葉樹 100	
	2 類地	112, 121, 122, 221	65	D	水稲 75	D	はげし 103 牧草 85				D	トドマツ 110 カラマツ 100	C	トドマツ 85 広葉樹 90		
	3 類地	113, 123, 131, 132, 133, 231	97	D	水稲 70	D	小豆 110 牧草 80				D	トドマツ 100 カラマツ 90	B	トドマツ 80 広葉樹 70		
	4 類地	114, 141, 142, 143, 144, 241, 242	387			(D)	牧草 75				D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	広葉樹 60		
	5 類地	151, 224, 234, 244, 251, 254	85										A	トドマツ 50 広葉樹 60		
	6 類地	334, 344, 354, 115, 145	32			D	はげし 90 牧草 70						B	広葉樹 30		
	7 類地															
	8 類地		2													
市 町 村 計		676														
音 威 子 府 村	1 類地															
	2 類地	112, 211	9										A	広葉樹 70		
	3 類地	113, 131, 132, 133	54			D	はげし 94 牧草 90		D	人工草地 93	D	トドマツ 90 カラマツ 70	C	広葉樹 60		
	4 類地	114, 141, 142, 143, 144, 241	87			D	はげし 90 牧草 87						A	トドマツ 60 広葉樹 40		
	5 類地	151, 153, 154, 244, 251, 253, 254	107			D	牧草 78				D	トドマツ 70 カラマツ 50	B	トドマツ 40 広葉樹 30		
	6 類地	344, 354, 115, 135, 155	18			D	牧草 73						A	広葉樹 15		
	7 類地															
	8 類地		0													
市 町 村 計		275														

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田	畑			草 地		林 地				空地・ その他			
				普 通 畑	樹 園 地	土 地	草地の種類	人 工 林	天 然 林							
	類地区分および包含される示性式	面 積 km ²	土 利 占有率	平均収 穫量率	土 利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土 利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	利 用 占有率	および平均 収 穫 量 率	土 利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土 利 占有率	
中 川 町	1 類地															
	2 類地	112, 221,	59		A 牧草 85											
	3 類地	113, 131, 132	47		D 牧草 80					D	トドマン カラマン 85 70	A	広葉樹 70			
	4 類地	114, 134, 141, 142, 143, 144, 241, 242	299							D	トドマン カラマン 70 55	A	トドマン 60 広葉樹 60			
	5 類地	151, 152, 153, 154, 234, 244, 251, 253	161					(D)	人工草地 85			A	トドマン 50 広葉樹 40			
	6 類地	115, 135, 145, 155	23		A 牧草 76					C	トドマン カラマン 15 10	D	広葉樹 30			
	7 類地	161, 262	9									B	広葉樹 10			
	8 類地		0													
市 町 村 計		598														
富 良 野 町	1 類地															
	2 類地	112, 121, 122, 211, 211	66	D	水稻109	D	小豆 118 たまねぎ 102					A	広葉樹 90		自衛隊用地	
	3 類地	113, 123, 131, 133, 212, 222, 231	239	D	水稻104	D	ばいれし 114 小豆 108 牧草 98		(D)	人工草地 110		B	トドマン 65 広葉樹 70		自衛隊用地、 ゴルフ場、原 野	
	4 類地	114, 141, 143 213, 223, 233, 241, 243,	179			D	ばいれし 110 小豆 105 麦 95 牧草 95		(D)	人工草地 102		A	トドマン 55 広葉樹 60			
	5 類地	214, 234, 244, 251, 254, 321, 331, 341	46									A	広葉樹 40			
	6 類地	314, 334, 344, 352, 354, 345	51									A	トドマン 30 広葉樹 30	D	除地	
	7 類地	364, 365, 445	18									B	広葉樹 15	C	除地	
	8 類地		3													
市 町 村 計		602														

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田	畑				草 地		林 地				空地・ その他			
				普 通 畑	樹 園 地	土 地	草地の種類	人 工 林	天 然 林								
	類地区区分および包含される示性式	面 積 km ²	土利 占有率	地用 平均収 穫量率	土利 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	土利 占有率		
上 富 良 野 町	1 類地														自衛隊用地		
	2 類地	112,211,221	3.1	D 水稻105	D 大豆 牧草 102 96						D 広葉樹	90	B				
	3 類地	113,123,132 133,212,222	13.0	D 水稻100	B 小豆 牧草 100 93						D トドマツ 広葉樹	65 70					
	4 類地	124,223,233	3.0		D アスバラ 大豆 92 100 95						A トドマツ 広葉樹	60 60					
	5 類地	224,234	7								A 広葉樹	50					
	6 類地	324,334,344, 345,355	2.9								B 広葉樹	35	C 除地				
	7 類地	444,455	7										A 除地				
	8 類地		5														
市 町 村 計		23.9															
中 富 良 野 町	1 類地														自衛隊用地		
	2 類地	112,221	3		B 大豆 小豆 109 110									B			
	3 類地	113,123,131, 132,133,222	8.4	C 水稻110	D 大豆 麦類 109 111 95					C トドマツ カラマツ	90 75	D 広葉樹	70				
	4 類地	114,141,143 233,241	2.0	D 水稻105							A 広葉樹	55					
	5 類地																
	6 類地																
	7 類地																
	8 類地		1														
市 町 村 計		10.8															

市 町 村 名	類 地 区 分 および包含さ れる示性式	面 積 km ²	土 地 利 用 の 現 況													備 考							
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・ その他								
					普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 および平均 収 獲 量 率	人 工 林		天 然 林										
											土 利 占 有 率	主 要 作 物 および平均 収 獲 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 獲 量 率			土 利 占 有 率	主 要 樹 種 および平均 収 獲 量 率	土 利 占 有 率				
1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	市 町 村 計	1 類 地	2 類 地					3 類 地	4 類 地				5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地
南 富 良 野 町	1 類 地																						
	2 類 地	211.221	29							D	人工草地 95				A	広葉樹 90							
	3 類 地	113.123.131. 212.222.231. 232	85	D	水稲 83	D	ばいれいし 108 小豆 98 牧草 92					D	トドマツ 100 カラマツ 90	A	トドマツ 80 広葉樹 70								
	4 類 地	141.213.223. 233.241.242. 243	291			D	ばいれいし 102 牧草 88					D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	トドマツ 70 広葉樹 60								
	5 類 地	151.214.244 251.254.321. 331.341.342	108									D	トドマツ 70 カラマツ 50	A	トドマツ 60 広葉樹 40								
	6 類 地	314.334.344. 354.345	110									D	トドマツ 45 カラマツ 40	A	広葉樹 30								
	7 類 地	264.364.365. 445.455	33											A	広葉樹 15								
	8 類 地		11																			金山ダム	
市 町 村 計		667																					
冠 占 村	1 類 地	111	13												A	広葉樹 100							
	2 類 地	221	2			A	ばいれいし 91 小豆 95 牧草 88																
	3 類 地	131.133.222. 231.232	38			D	牧草 85					D	トドマツ 100 カラマツ 95	A	トドマツ 70 広葉樹 70								
	4 類 地	141.142.143. 213.223.233. 241.242	260									B	トドマツ 80 カラマツ 70	A	トドマツ 55 広葉樹 60								
	5 類 地	234.244.251. 253.254.332. 341.342.343	207											A	トドマツ 40 広葉樹 40								
	6 類 地	344.351.354. 345	47									D	トドマツ 45 カラマツ 45	A	広葉樹 30								
	7 類 地	261.264	4											A	広葉樹 15								
	8 類 地		0																				
市 町 村 計		571																					

